

高野町遺跡（2次調査）

福岡県八女市大字山内所在遺跡の調査報告書

八女市文化財調査報告書 第75集

2006

八女市教育委員会

序

高野町遺跡は、平成5年に花卉集荷センター建設に伴って発掘調査され、弥生時代から古墳時代の集落跡が発見されました。今回の調査は、センター西側隣接地に計画された、J A八女東支店の建設に伴うもので、施設建設前に周知の埋蔵文化財包蔵地の発掘調査を実施したものです。発掘調査の実施にあたりまして福岡八女協同組合 代表理事組合長 樋口和典様はじめ、関係各位に文化財保護のため終始ご協力いただきました。記してお礼申し上げます。

平成18年3月31日

八女市教育委員会

教育長 中島 清志

例 言

- 1 本書は八女市教育委員会が福岡八女農業協同組合 代表理事組合長 樋口和典の委託を受けて実施した福岡県八女市大字祈祷院字高野町遺跡（2次調査）の発掘調査報告書である。
- 2 平成16年度に高野町遺跡（2次調査）の発掘調査を実施した。引き続いて平成17年度に整理作業を行い、八女市教育委員会が主体となって報告書を作成した。
- 3 遺構の実測は、基本的には国土地理院の設定する第Ⅱ座標系を基準としている。
- 4 遺構の実測は参加者で行い、写真は中川が撮影した。
- 5 出土した遺物については、岩戸山歴史資料館で整理を行い、保管している。
- 6 本書の執筆、編集は中川が行った。

本 文 目 次

1. はじめに	1
2. 位置と環境	2
3. 発掘調査の概要と経過	4
4. 遺構と遺物	6
5. まとめ	45

挿 図 目 次

第 1 図	高野町遺跡空撮（1次調査時）北から	第 2 2 図	土壙（S K50その2）出土土器実測図 [1/4]
第 2 図	高野町遺跡 1 次調査・2 次調査周辺遺跡分布図 [1/25.000]	第 2 3 図	土壙（S K50その3 51・52・54・57・58） 出土土器実測図 [1/4]
第 3 図	高野町遺跡 1 次調査・2 次調査位置図 [1/2.500]	第 2 4 図	不明遺構（S X01～03）出土土器実測図 [1/4]
第 4 図	竪穴住居（S B69）出土土器実測図 [1/4]	第 2 5 図	溝（S D01）出土土器実測図 [1/4]
第 5 図	不明遺構（S X05）出土土器実測図 [1/4]	第 2 6 図	竪穴住居（S B70）出土土製品実測図 [1/2]
第 6 図	高野町遺跡 2 次調査遺構配置図 [1/200]	第 2 7 図	土壙（S K33）出土土製品実測図 [1/2]
第 7 図	竪穴住居（S B68・69・70）実測図 [1/60]	第 2 8 図	土壙（S K42・46・47・49・58）出土石器実測図 [1/2]
第 8 図	竪穴住居（S B71・72・73）実測図 [1/60]	第 2 9 図	土壙（S K50）出土石器実測図 [1/2]
第 9 図	竪穴住居（S B68）出土土器実測図 [1/4]	第 3 0 図	竪穴住居（S B70・72）、溝（S D01）、表採出土 石器実測図 [1/2]
第 1 0 図	土壙（S K31～46）実測図 [1/60]	第 3 1 図	竪穴住居（S B68・70）、土壙（S K46・50）、不明 遺構（S X02）出土石器実測図 [1/2]
第 1 1 図	土壙（S K47～49・51～58）実測図 [1/60]	第 3 2 図	竪穴住居（S B69・70）出土石器実測図 [1/4]
第 1 2 図	土壙（S K50）実測図 [1/60]	第 3 3 図	竪穴住居（S B73）、土壙（S K31・38・42・46） 出土石器実測図 [1/4]
第 1 3 図	不明遺構（S X01～S X05）実測図 [1/60]	第 3 4 図	土壙（S K47・50）出土石器実測図 [1/4]
第 1 4 図	溝（S D01）土層実測図 [1/40]	第 3 5 図	土壙（S K50・52）出土石器実測図 [1/4]
第 1 5 図	竪穴住居（S B69）出土土器実測図 [1/4]	第 3 6 図	土壙（S K57・58）、不明遺構（S X03）出土石器 実測図 [1/4]
第 1 6 図	竪穴住居（S B70その1）出土土器実測図 [1/4]		
第 1 7 図	竪穴住居（S B70その2・73）出土土器実測図 [1/4]		
第 1 8 図	土壙（S K38・39・42）出土土器実測図 [1/4]		
第 1 9 図	土壙（S K46）出土土器実測図 [1/4]		
第 2 0 図	土壙（S K47・49）出土土器実測図 [1/4]		
第 2 1 図	土壙（S K50その1）出土土器実測図 [1/4]		

表 目 次

表 1	S B69・S X05出土土器観察表	表 1 0	S D01・S B70・S K33出土土器観察表
表 2	S B68出土土器観察表	表 1 1	S K42・46・47・49・58出土石器観察表
表 3	S B69・70出土土器観察表	表 1 2	S K50出土石器観察表
表 4	S B70・73出土土器観察表	表 1 3	S B70・72・S D01・表採出土石器観察表
表 5	S K38・39・42・46・47出土土器観察表	表 1 4	S B68・69・70・73・S K31・38・42・46・47・50・ S X02出土石器観察表
表 6	S K47・49・50出土土器観察表	表 1 5	S K50・52・57・58・S X03出土石器品観察表
表 7	S K50・51・52・54・57出土土器観察表		
表 8	S K57・58出土土器観察表		
表 9	S X01・02・03出土土器観察表		

図 版 目 次

図版 1	(1) 高野町遺跡 1 次調査（上空西より） (2) 高野町遺跡 2 次調査発掘前全景	図版 7	(1) S K43・44 (2) S K45 (3) S K46 (4) S K47
図版 2	(1) 高野町遺跡 2 次調査発掘調査後全景（北から） (2) 高野町遺跡 2 次調査発掘調査後全景 （南西から）	図版 8	(1) S K49・50・57 (2) S K50 (3) S K50 土器出土状況 (4) S K51
図版 3	(1) S B68 (2) S B69・S B73 (3) S B70 石斧出土状況 (4) S B71	図版 9	(1) S K52 (2) S K53 (3) S K54 (4) S K55
図版 4	(1) S B70 (2) S B70（完掘）	図版 1 0	(1) S X01・02・05（南から） (2) S X01・02・05（西から） (3) S X03 (4) S X03・04
図版 5	(1) S K33 (2) S K34 (3) S K35 (4) S K36		
図版 6	(1) S K37 (2) S K38 (3) S K39・40・41 (4) S K42		

裏表紙 高野遺跡 2 次調査発掘風景

1. はじめに

高野町遺跡は福岡県八女市大字祈祷院字高野町241番地1に所在する。

調査の発端は、福岡八女農業協同組合が、花卉集荷センター地内にJ A八女東支店を建設する計画がなされたことによる。建設予定地東側に隣接した花卉集荷センターは平成5年4月より6月まで、建設に先立って約2000㎡の発掘調査を実施し、弥生時代から古墳時代の集落が発見されている。このため建物の建設に先だって発掘調査が必要の旨の回答を行った。その後、両者が協議を重ねた結果、発掘調査は建物によって掘削される約800㎡のみを実施する事とし、平成16年11月16日付けで福岡八女農業協同組合 代表理事組合長 樋口和典氏より発掘届が提出された。発掘届の提出により平成16年12月20日付けで「埋蔵文化財発掘委託契約書」及び平成17年度で実施する「埋蔵文化財整理調査及び報告書作成委託契約」の協定書を締結した。

調査は平成17年1月4日に開始、厳寒期という悪条件での調査となったが、平成17年3月29日発掘調査は終了した。

引き続いて平成17年度には平成17年4月5日付けで「埋蔵文化財整理調査及び報告書作成委託契約書」を締結し、高野町遺跡2次調査の整理と報告書作成を実施した。

平成16年度及び平成17年度の調査関係者は次のとおりである。

平成16年度

福岡八女農業協同組合

代表理事組合長 樋口和典

八女市教育委員会

教 育 長	中 島 清 志
生涯学習課長	諸 富 和 生
生涯学習課長補佐	飯 田 せつ子
文化財係長	赤 崎 敏 男
同 係 員	中 川 寿賀子 (調査担当)
同 係 員	大 塚 恵 治
同 嘱 託	檀 佳 克 (1月まで)

平成17年度

福岡八女農業協同組合

代表理事組合長 樋口和典

八女市教育委員会

教 育 長	中 島 清 志
生涯学習課長	下 川 文比古
生涯学習課長補佐	古 庄 龍 美
文化財係長	赤 崎 敏 男
同 係 員	中 川 寿賀子
同 係 員	大 塚 恵 治

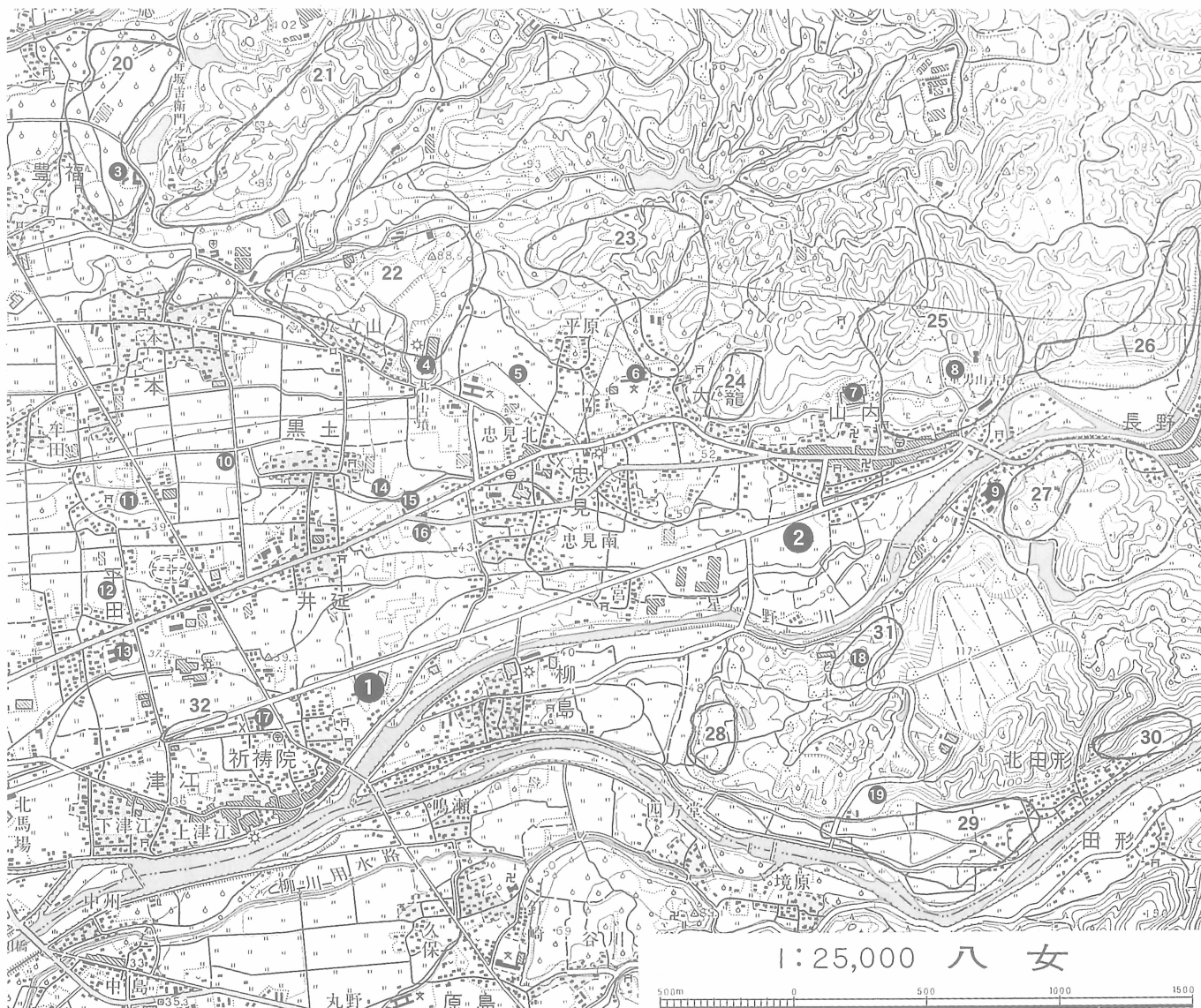
2. 位置と環境

高野町遺跡は、星野川の右岸に形成された、ほぼ東西にのびる標高約40m前後の自然堤防上にある。遺跡は県道八女―香春線に隣接し、北側には並行して国道442号線が東西に走っている。国・県道の両側には最近店舗や工場等が多く建設されており、これら開発に伴って埋蔵文化財の発掘調査も増加している。また、平成6年度から12年度まで国道3号線から東側の地区約210㍍で施工された県営担い手育成基盤整備事業・県営かんがい排水事業に伴って数多くの遺跡が発見されている。

周辺の遺跡を概観すると、弥生時代中期の遺跡として西側1.5kmに高島遺跡、熊野遺跡、赤氏遺跡があり、高島遺跡の1次から4次調査で中期前半から後半の竪穴住居、溝、土壇、旧河川が発見され、多量の遺物が出土している。北西約1kmには北ノ前遺跡、平田・六反田遺跡があり、中期後半の集落が発見されている。また、北東300mの祈讓遺跡から、土壇や柱穴が発見されている。北西1.5kmの西原遺跡第1、2次調査で弥生時代の甕棺墓83基、古墳時代の方形周溝墓3基、弥生時代から古墳時代の竪穴住居67軒が発見されている。弥生時代後期の遺跡として、西側400mの白石遺跡では後期の溝と整地層、津江・八升町遺跡、津江遺跡では後期の集落と石棺を中心とした墓地が発見されている。遺跡の北側には八女丘陵が東西に連なり、丘陵上には国指定史跡の八女古墳群（岩戸山古墳・乗場古墳・善蔵塚古墳・丸山塚古墳・茶臼塚古墳・丸山塚古墳）をはじめ、鶴見山古墳、釘崎古墳群などの前方後円墳群、近くには立山山古墳群（39基）、日迫山古墳群（19基）、平原古墳群（27基）、東館古墳群（9基）、童男山古墳群（27基）が存在している。



第1図 高野町遺跡空撮（1次調査時）北から



- | | | | |
|---------------|------------------|-----------------|---------------|
| 1.高野町遺跡 2次調査 | 2.榎町遺跡 1次調査・2次調査 | 3.釘崎 1号墳 | 4.丸山古墳 |
| 5.西小牟田遺跡 | 6.見崎中学校校庭遺跡 | 8.童男山古墳 (1号墳) | 9.川崎小学校遺跡 |
| 10.石佛遺跡 | 11.尺取遺跡 | 12.平田・六反田遺跡 | 14.黒土・新替遺跡 |
| 15.風流松遺跡 | 16.明洲遺跡 | 17.白石遺跡 | 19.城の谷古墳 |
| 20.豊福遺跡群 | 21.釘崎古墳群 | 22.立山山古墳群 | 24.日迫山 1～19号墳 |
| 25.童男山 2～27号墳 | 26.長野 1～15号墳 | 27.堀路女喜 1号墳～6号墳 | 29.北田形遺跡群 |
| 30.北田形 1号～7号墳 | 31.柳島 1～5号墳 | 28.柳島 6号～8号 | |
| | 32.津江・八升町遺跡 | | |

第2図 高野町遺跡 1次調査・2次調査周辺遺跡分布図 [1/25,000]

3. 発掘調査の概要と経過

平成5年度に調査面積約2,000m²（現在花卉流通センター）を対象として1次調査が行われた。

2次調査は、1次調査の西側ですでに駐車場になっている部分約800m²を対象として行われた。1次調査では、弥生時代中期前半から、古墳時代後期にかけての複合集落が見つかったため、西側への集落の広がりが予想された。

調査の結果、調査地区のほぼ全体から、弥生時代中期前半を中心とした（一部縄文時代中期と古墳時代後期を含む）遺跡が検出された。

1. 調査経過

- 平成16年 1月 4日 バックホーを入れ、調査開始。
- 1月 5日 機材の搬入。作業員を入れ、南側から遺構面の検出開始。
- 1月 7日 遺構の検出。調査区西側に円形の竪穴住居検出。調査区、南東角の包含層から須恵器の提瓶、土師器の坏、甕出土。下層からカマドを西側に付設した竪穴住居検出。南側に土壌を検出。
- 1月12日 危険防止のため、発掘現場の周辺にバリケードを設置。土壌から石庖丁、サヌカイト製の石鏃出土。
- 1月18日 土壌の写真撮影。平板測量。土壌から、直径約3mm程度の豆のような炭化した植物出土。
- 1月21日 竪穴住居から黒曜石製の石鏃、太型蛤刃石斧出土。
- 1月26日 午前中溜まった水を揚げる。雨で洗われて調査区西側の土壌からサヌカイトの剥片等が多量に出土。
- 1月28日 土壌の個別図面、土層図作成。
基準点の設置。
- 1月31日 土層図作成。写真撮影。土壌から軽石出土。
- 2月 3日 竪穴住居から紡錘車、サヌカイト製の石鏃出土。平面図作成開始。
- 3月 1日 写真撮影。
- 3月 7日 竪穴住居から炉検出。
- 3月15日 竪穴住居から柱穴検出。土壌から粘板岩製の扁平片刃石斧出土。
- 3月29日 現場終了。機材等引き上げる。



第3図 高野町遺跡 1次調査・2次調査位置図 [1/2,500]

4. 遺構と遺物

(1) 縄文時代の遺構と遺物

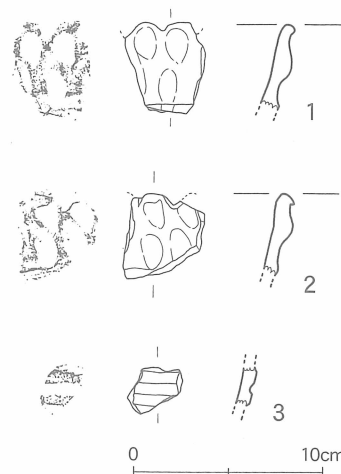
遺構は不明遺構が1基見つかり、縄文時代中期後半と考えられる。

不明遺構

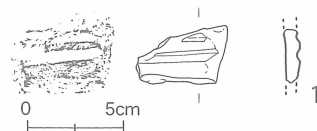
SX05 (第5・13図、表1、図版10)

調査区東側の中央よりやや北側で検出された。遺構の東側には攪乱があり、南側は礫層に切られているため全形が確認できなかった。壁高40cm前後であり、壁面は緩やかに立ち上がっている。プランは方形に近い。

出土遺物は縄文土器の細片が出土している。また、SB69からも同時代の土器片が出土しているが、弥生土器も多量に出土しているため、SB69の直接の遺物ではなく周辺に縄文時代の遺構があったものと考えられる。



第4図 竪穴住居 (SB69)
出土土器実測図[1/4]



第5図 不明遺構 (SX05)
出土土器実測図 [1/4]

挿図 番号	出土 遺構	遺物 番号	器 類	口径 (cm)	器高 (cm)	胎 土	色 調	焼成	調 整		備 考
									外 面	内 面	
第4図	SB69	1	縄文土器鉢片			砂粒を含む	暗褐色		束突痕	ナデ	細片、押圧文
"	"	2	"			"	"		"	ナデ	" "
"	"	3	"			"	"			ナデ	"、沈線
第5図	SX05	1	縄文土器片			小石が混る、滑石を含む	茶褐色	普通			

表1 SB69・SX05出土土器観察表

(2) 弥生時代の遺構と遺物

遺構は、竪穴住居が5軒、土壇28基、溝1条が確認された。竪穴住居は、方形のものと円形のものが見つかった。円形の住居は、1次調査でも見つかり、集落の範囲が西側に広がっているものと考えられる。

竪穴住居 (SB)

SB68 (第7・9・31図、表2・14、図版3)

調査区のもっとも北側に位置し、プランは隅丸長方形である。規模は北西から南東方向2m、北東から南西方向3mである。壁高は26cm前後である。中央に炉がある。柱穴は2本確認した。住居は、礫層を掘り込んで形成されている。

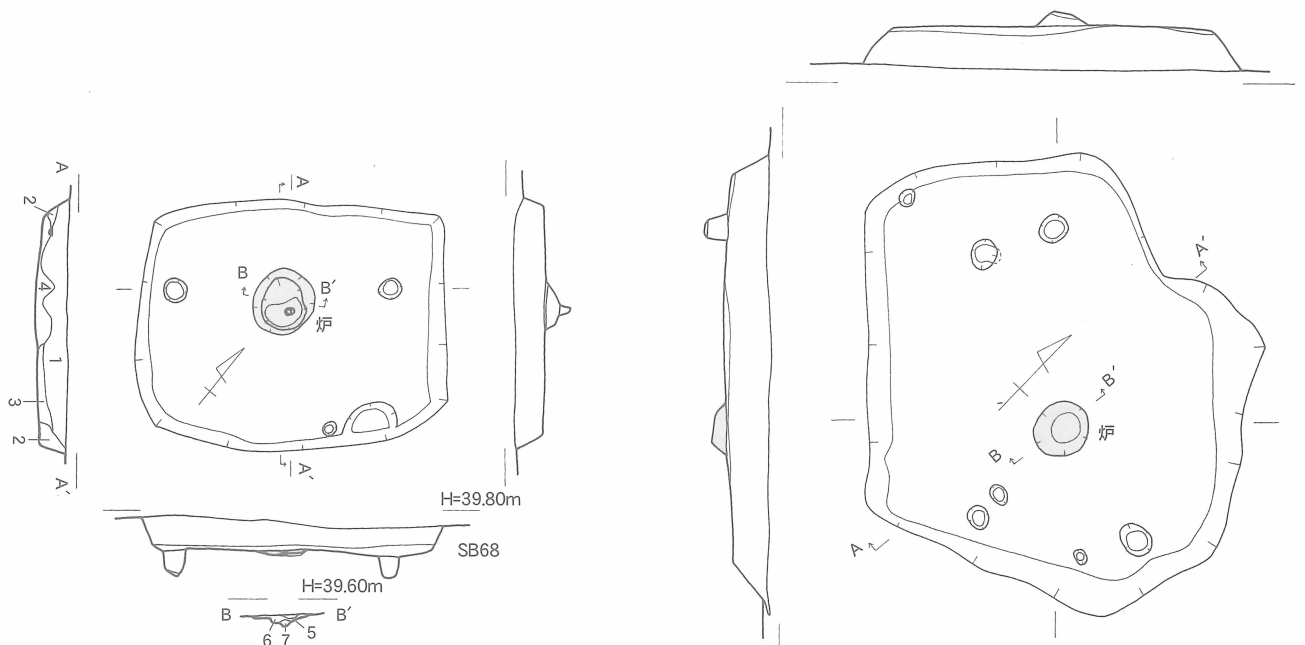
出土遺物は、土器では壺の蓋が出土しており、裾部に直径2mm前後の孔がある。また、石器では片岩製の石庖丁が出土している。

SB69 (第4・7・15・32図・表1・3・14、図版3)

調査区の中央よりやや北側にあり、SB73と切り合っている。プランは方形で、北東から南西方向

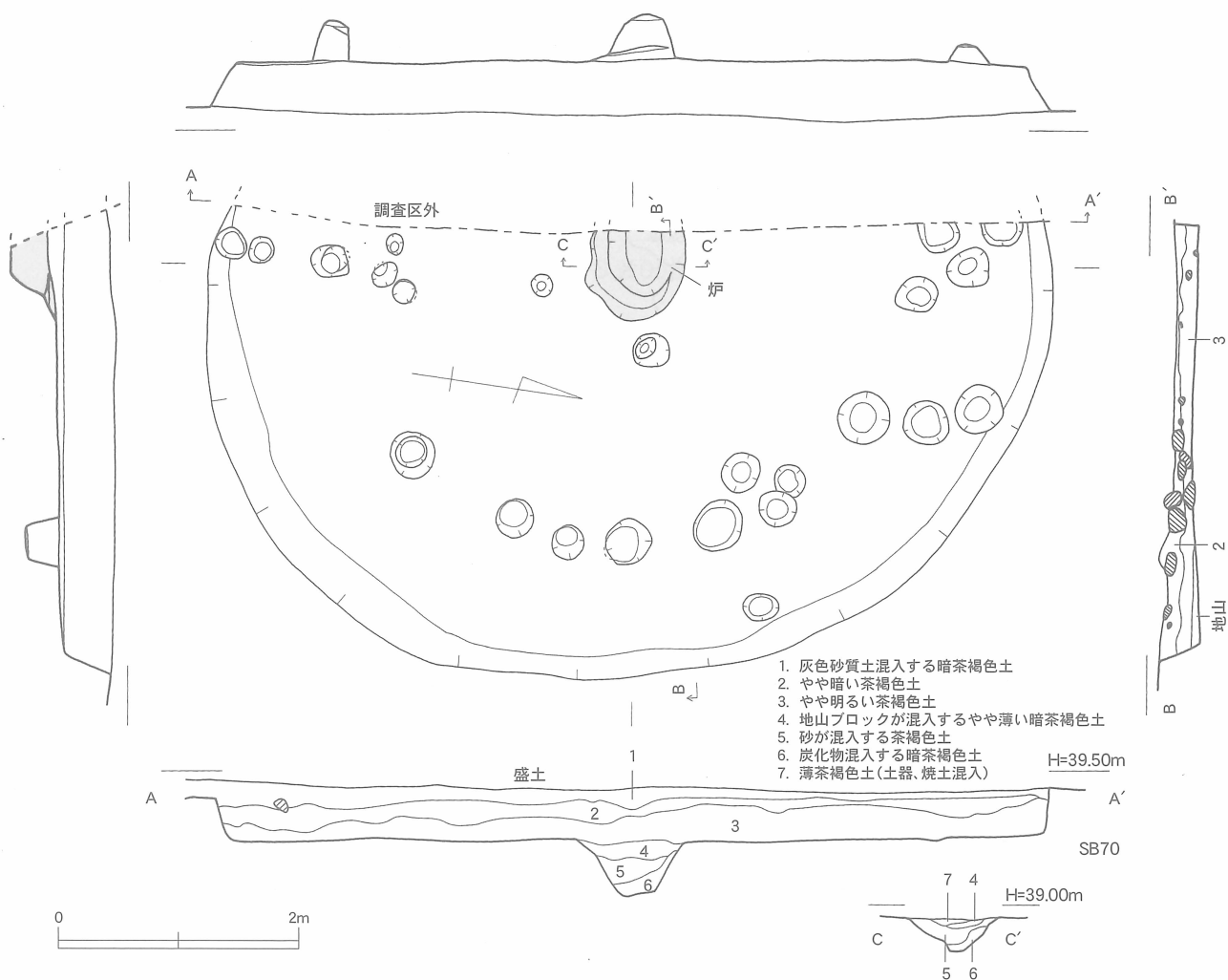


第6図 高野町遺跡2次調査遺構配置図 [1/200]



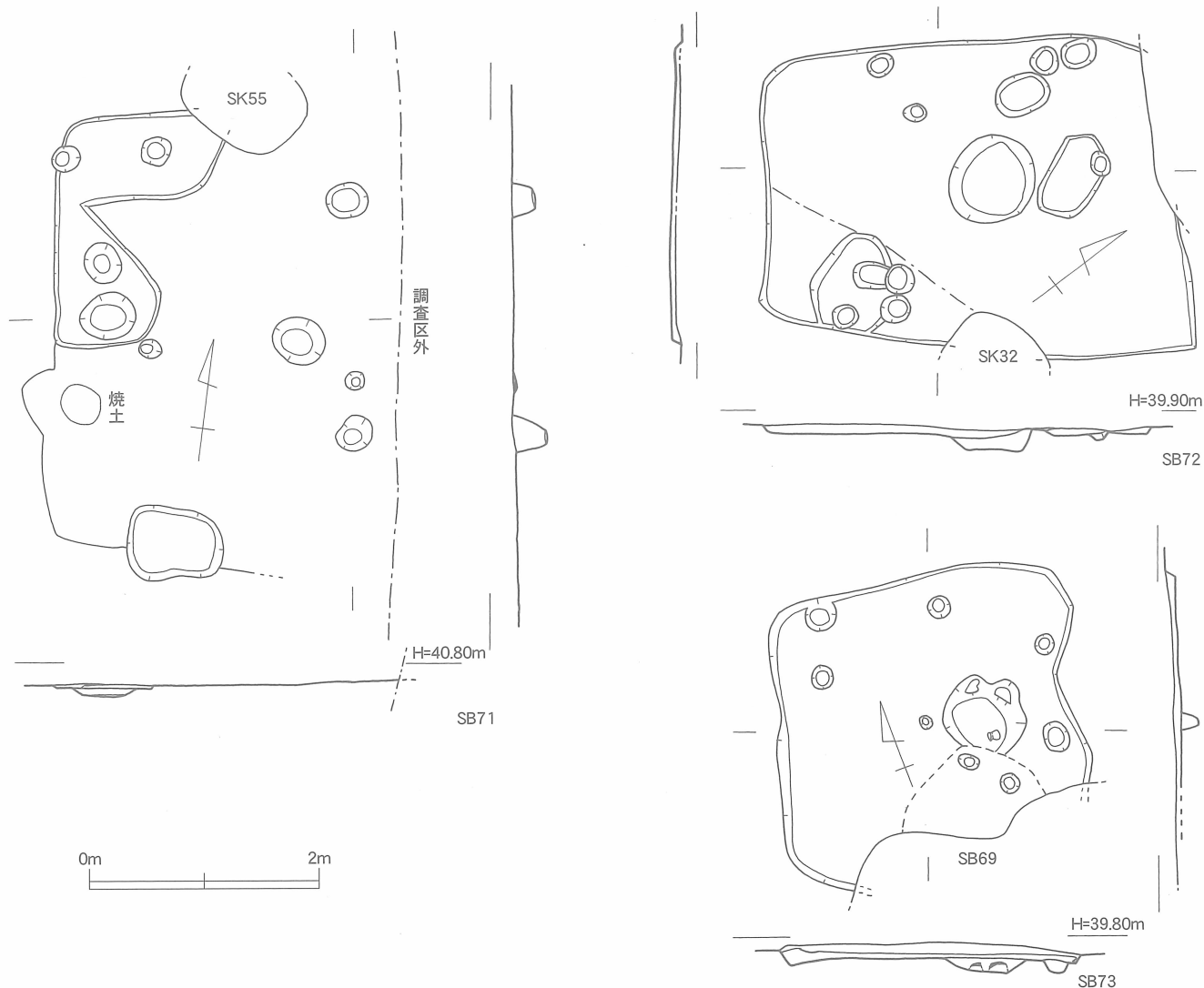
1. 土器混入する灰茶褐色土(砂質土混入)
2. 黄色土混入する灰茶褐色土
3. やや暗い灰茶褐色土
4. 茶灰色土
5. 焼土、灰混入する薄茶灰色土
6. 暗茶灰色土
7. やや濃い茶灰色土

1. 灰色砂質土(上層部河原石)
2. 暗茶褐色土
3. 薄茶褐色土
4. 灰茶褐色土
5. 焼土、炭化物混入する灰茶褐色土
6. 地山混入する薄茶褐色土

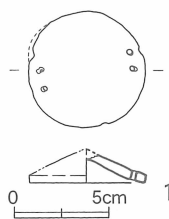


1. 灰色砂質土混入する暗茶褐色土
2. やや暗い茶褐色土
3. やや明るい茶褐色土
4. 地山ブロックが混入するやや薄い暗茶褐色土
5. 砂が混入する茶褐色土
6. 炭化物混入する暗茶褐色土
7. 薄茶褐色土(土器、焼土混入)

第7図 竪穴住居 (SB68・69・70) 実測図 [1/60]



第8図 竪穴住居 (SB71・72・73) 実測図 [1/60]



第9図 竪穴住居 (SB68)
出土土器実測図 [1/4]

挿図 番号	出土 遺構	遺物 番号	器 類	口径 (cm)	器高 (cm)	胎 土	色 調	焼成	調 整		備 考
									外 面	内 面	
第9図	SB68	1	壺蓋	6		砂粒を含む	黄灰褐色/暗黄褐色	普通	ナデ	ナデ	

表2 SB68出土土器観察表

3 m、北西から南西方向 3 mである。壁高は 38 cm 前後である。中心から少しずれた部分に炉をもっている。柱穴は確認できなかった。

出土遺物は、土器では壺、甕、鉢、高坏、甕蓋などが出土している。壺は小型で、口径が 8 cm 前後である。甕は三角突帯がついており、中には口縁部と突帯に刻目文を施したものもある。石器では磨石が出土している。

SB70 (第7・16・17・26・30・31・32図、表3・4・10・13・14、図版3・4)

調査区中央の西の端にあり、プランは円形であるが調査区域外のため全面を検出していない。規模は径が約7 mである。中央に楕円形の深い炉を持っており、壁高は40 cm前後である。

出土遺物は、土器では壺、甕、甑、甕蓋などが出土しており、土製品は紡錘車が出土している。石器は、石鏃、石剣、太型蛤刃石斧、石庖丁、石皿、台石、磨石などが出土している。

SB72 (第8・30図、表13)

SB68の南側にあり、プランは長方形で規模は北西から南東方向3 m、北東から南西方向3.5 mである。炉や柱穴は確認できなかった。遺構の残りが悪く、壁高は約5 cmほどしか残っていなかった。

出土遺物はサヌカイト製の石鏃が1点出土している。

SB73 (第8・17・33図、表4・14、図版3)

SB69の北側にあり、同遺構に切られている。プランは方形で、一辺が2.5 mである。炉と柱穴の確認はできなかった。壁高は3 cm前後である。

出土遺物は土器では、壺、甕が出土しており、石器は台石が出土している。

土壙 (SK)

土壙は、調査区の全域で28基見つかっている。平面形は楕円形が多く、円形、隅丸長方形、方形、不整形のものがある。

SK31 (第10・33図、表14)

調査区北側の東端に位置する。プランはほぼ円形で径が約60 cmである。深さは30 cm前後である。遺物として磨石が出土している。

SK32 (第10図)

SK31の西側にあり、SB72を切っている。プランは楕円形で、規模は長さ90 cm、幅80 cmである。深さは4 cm前後である。出土遺物は出土していない。

SK33 (第10・27図、表10、図版5)

SB73の西側にあり、プランは楕円形で、規模は長さ90 cm、幅60 cmである。深さは11 cmである。床面から焼土が見つかっており、出土遺物としては土製の投弾が出土している。

SK34 (第10図、図版5)

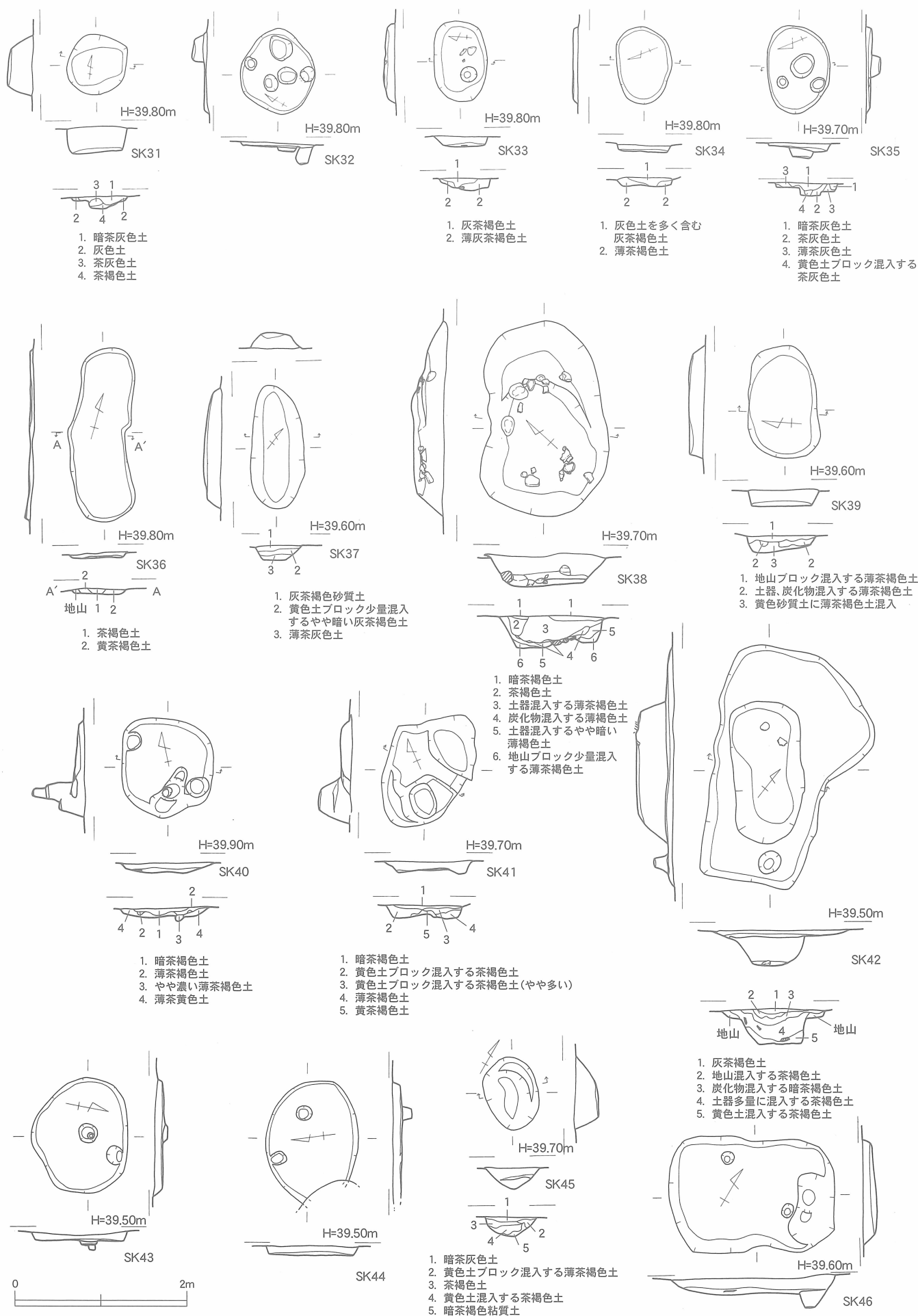
SK33の南側にあり、プランは楕円形で、規模は長さ90 cm、幅60 cmである。深さは6 cm前後である。遺物は出土していない。

SK35 (第10図、図版5)

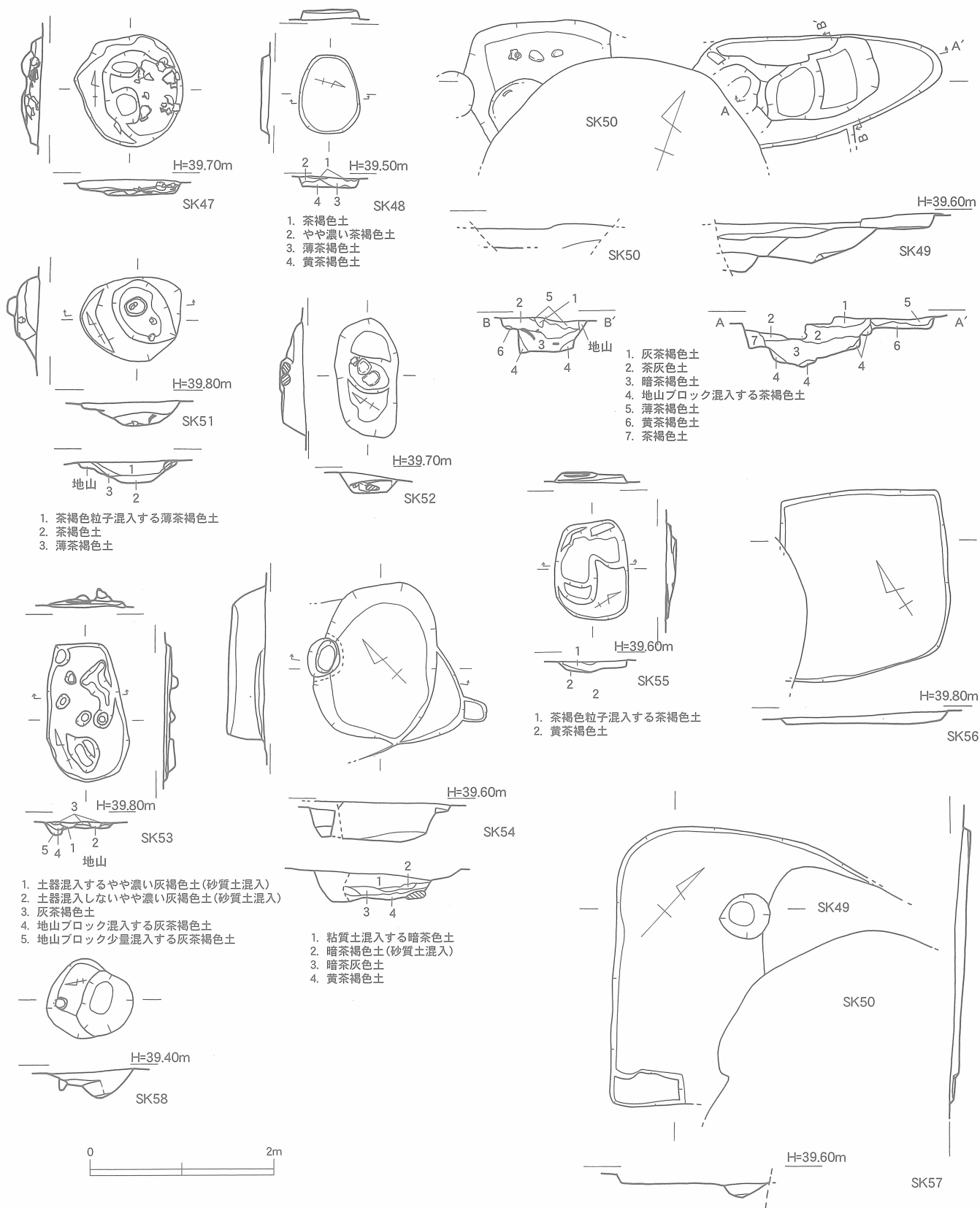
SK34の南側にあり、プランは楕円形で、規模は長さ90 cm、幅50 cmである。深さは6 cm前後である。遺物は出土していない。

SK36 (第10図、図版5)

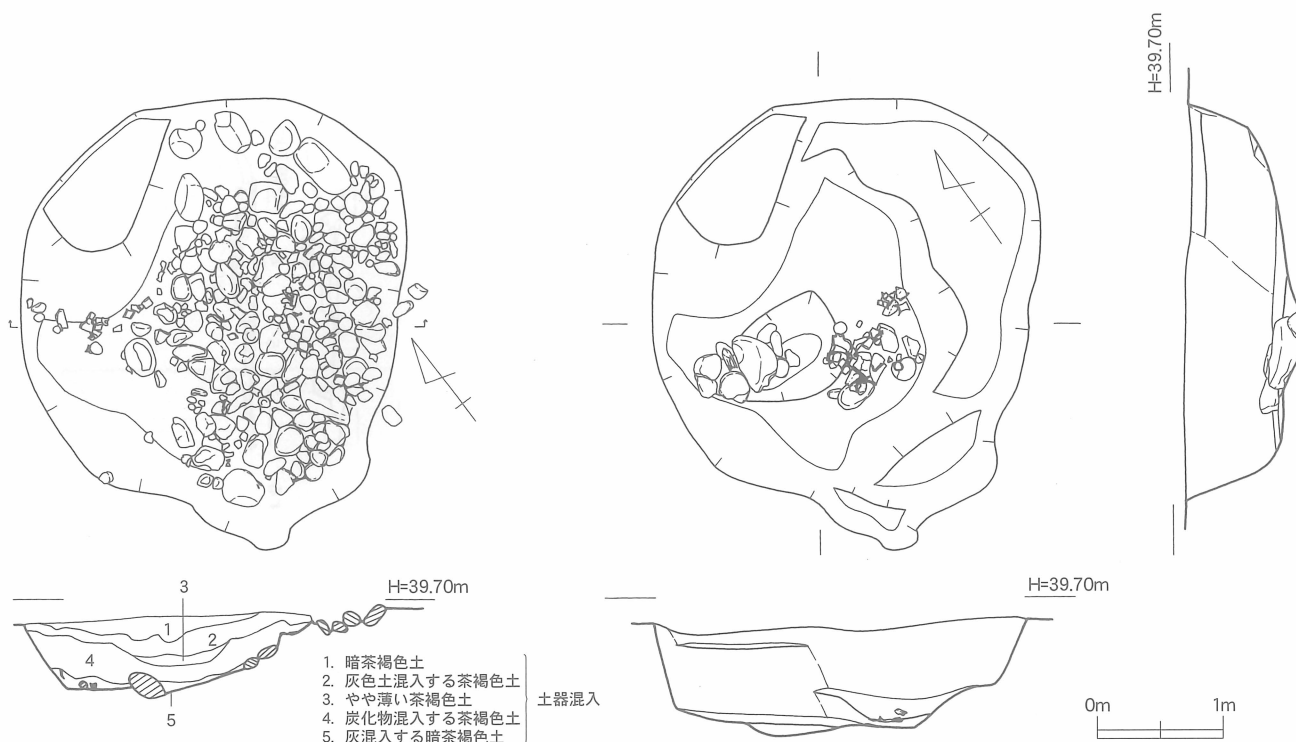
調査区の北西にあり、比較的遺構の少ない場所で見つかっている。プランは不整形な楕円形で、長さ2 m、幅70 cmである。深さは3 cm前後である。SB68同様礫層を掘り下げて作られている。遺物は出土していない。



第10図 土壌 (SK31~46) 実測図 [1/60]



第11図 土壌 (SK47~49・51~58) 実測図 [1/60]



第12図 土坑（SK50）実測図 [1/60]

SK37（第10図、図版6）

SB70の東側にあり、プランは楕円形である。規模は長さ140cm、幅60cmである。深さは20cm前後である。遺物は出土していない。

SK38（第10・18・33図、表5・14、図版6）

SB69の南側にあり、本遺跡の土坑のなかではやや大きい。プランは楕円形であるが、隅丸長方形に近い。規模は長さ2.3m、幅1.2mである。大変残りがよく、深さは33cm前後である。壁の立ち上がりはかなり緩やかで、特に西側部分が著しい。床面は平坦である。向きがSB69と一致しており、関連の遺構であるかもしれない。

出土遺物は多く、土器では甕、鉢が出土しており、甕は口縁部と突帯に刻目文が見られる。石器では磨石が出土している。また、軽石も出土している。

SK39（第10・18図、表5、図版6）

調査区中央の東側の端にあり、プランは楕円形である。規模は長さ1.3m、幅90cmである。深さは18cm前後である。

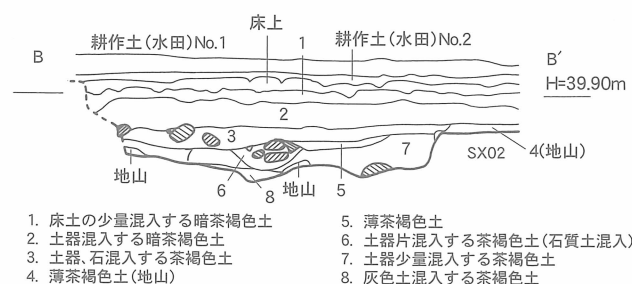
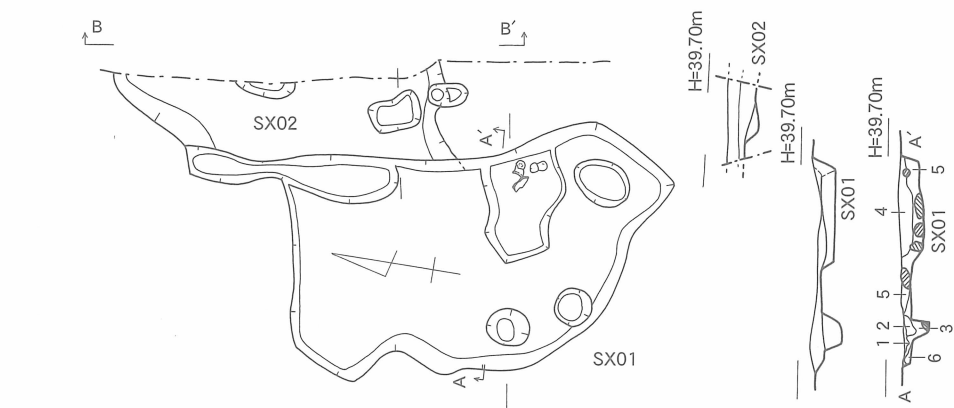
出土遺物としては、甕が出土している。

SK40（第10図、図版6）

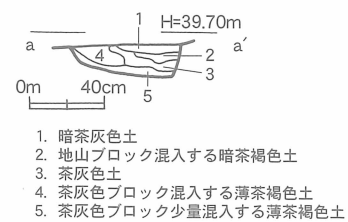
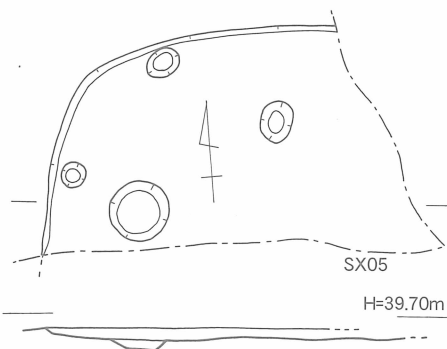
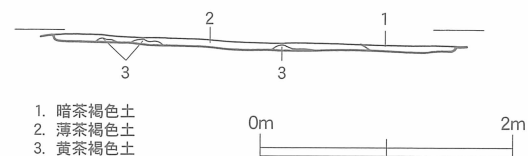
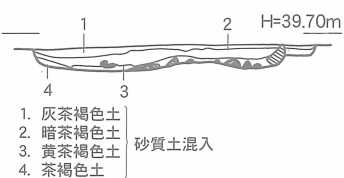
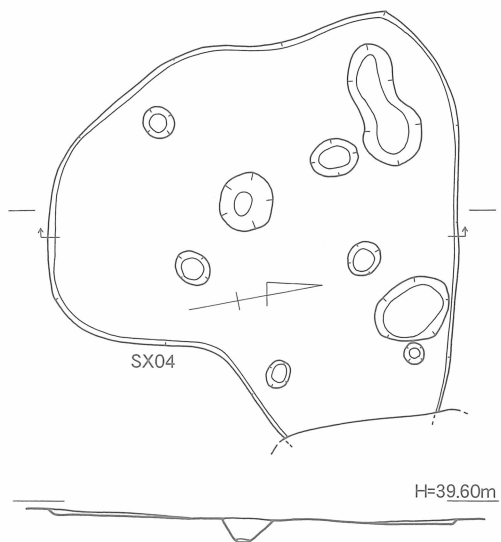
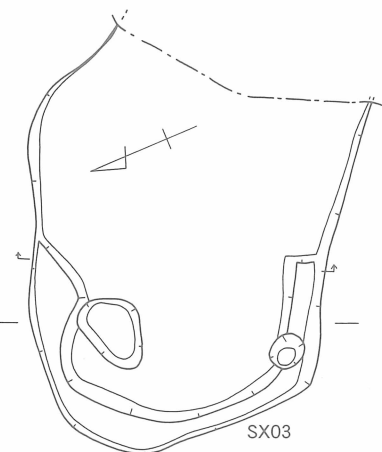
SK39の南側にあり、不整形な楕円形である。規模は長さ1.3m、幅1.2cmで隅丸方形に近い。深さは10cm前後であるが、南側に深さ60cmのピットがある。遺物は出土していない。

SK41（第10図、図版6）

SK40の南東にあり、不整形な楕円形である。規模は長さ1.4m、幅1.1mである。深さは8cm前後である。遺物は出土していない。

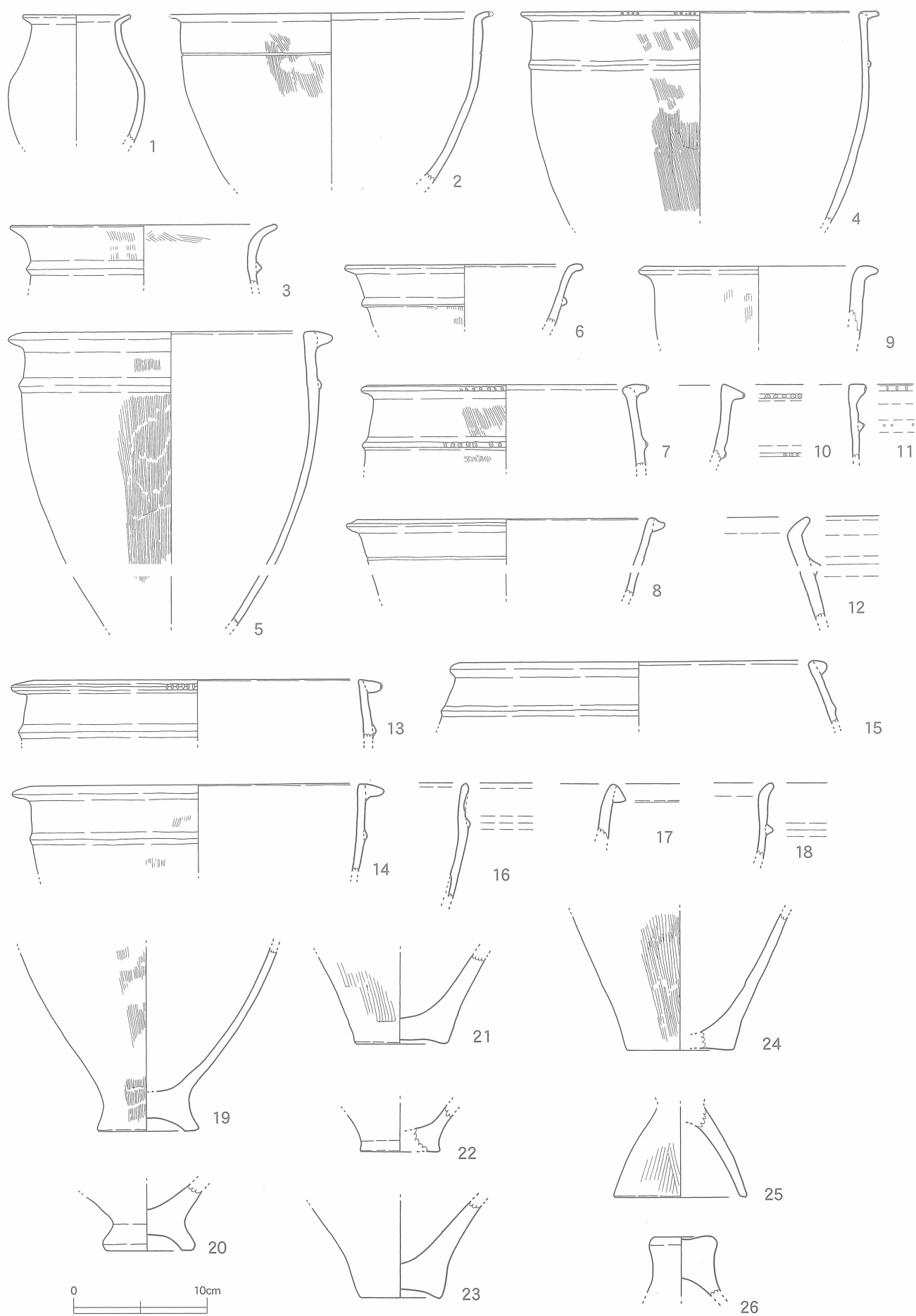


1. 土に少量混入する暗茶褐色土
2. 土器混入する暗茶褐色土
3. 土器、石混入する茶褐色土
4. 薄茶褐色土(地山)
5. 薄茶褐色土
6. 土器片混入する茶褐色土(石質土混入)
7. 土器少量混入する茶褐色土
8. 灰色土混入する茶褐色土

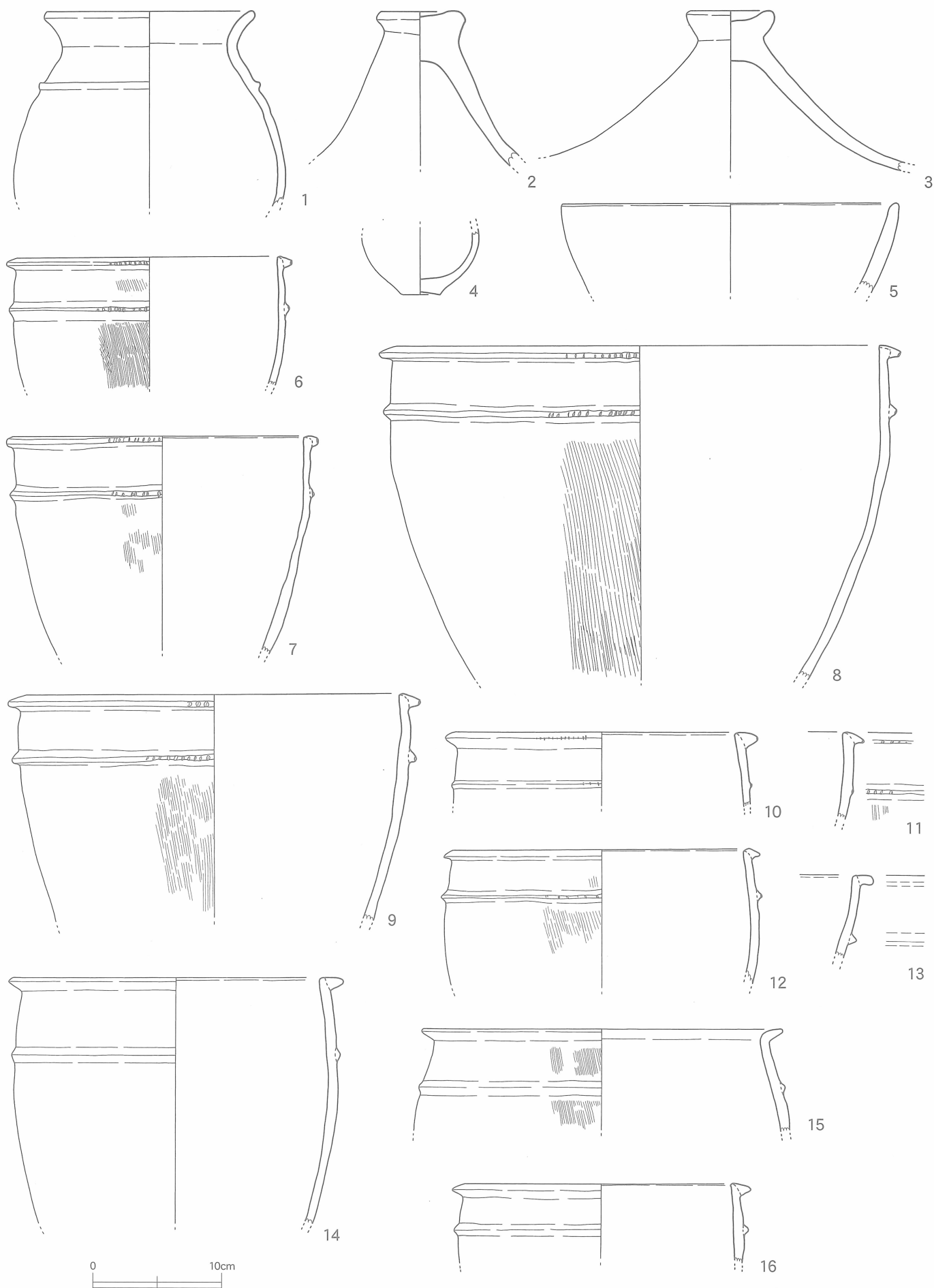


第13図 不明遺構 (SX01~05) 実測図 [1/60]

第14図 溝 (SD01) 土層実測図 [1/40]

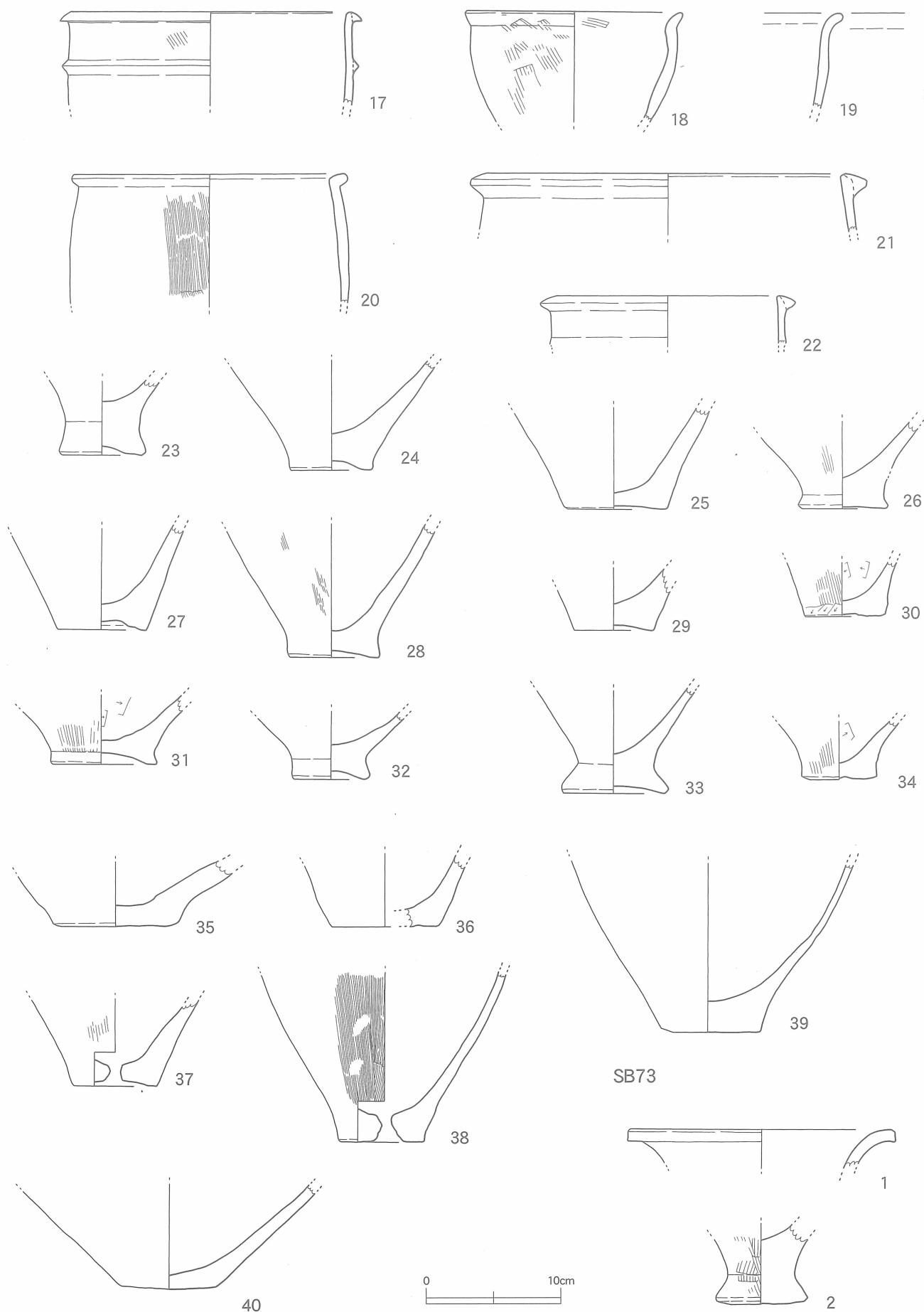


第 15 図 竪穴住居 (S B 69) 出土土器実測図 [1/4]

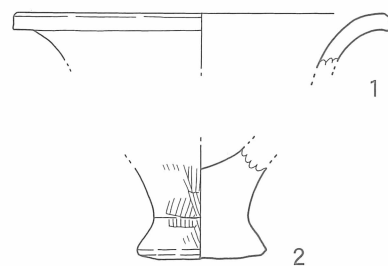


第16図 竪穴住居（SB70その1）出土土器実測図 [1/4]

SB70



SB73



第17図 竪穴住居（SB70その2・73）出土土器実測図 [1/4]

挿図 番号	出土 遺構	遺物 番号	器 類	口径 (cm)	器高 (cm)	胎 土	色 調	焼成	調 整		備 考
									外 面	内 面	
第15図	SB69	1	壺	8		1~4mm大の小石が混る、 砂粒を含む	暗茶褐色	やや不良	ヨコナデ、不明	不明、ナデ	
"	"	2	甕			1~6mm大の小石が混る、 砂粒を含む	暗黄赤茶褐色/暗黄褐色	やや不良	ヨコナデ、ハケ 目	ナデ摩耗	
"	"	3	"	20		1~3mm大の小石が混る、 砂粒を含む	暗褐色	普通	ヨコナデ、ハケ 目後ヨコナデ	ハケ目、ナデ	
"	"	4	"	26.8		1~5mm大の小石が混る、 砂粒を含む	黄灰黒褐色/黄灰褐色	やや不良	ヨコナデ、ハケ 目後ヨコナデ	ナデ	黒班有り
"	"	5	"	24		1~6mm大の小石が混る、 砂粒を含む	暗黄茶褐色	やや不良	ヨコナデ、ハケ 目後ヨコナデ	不明	黒班有り
"	"	6	鉢	18		1~4mm大の小石が混る、 砂粒を含む	暗黄灰色	普通	ヨコナデ、ハケ 目	ナデ	
"	"	7	甕	21.6		1~4mm大の小石が混る、 砂粒を含む	暗褐色/暗黄褐色	普通	ヨコナデ、ハケ 目	不明、ナデ	
"	"	8		24		1~4mm大の小石が混る、 砂粒を含む	暗黄褐色/黄茶褐色	やや不良	ヨコナデ、ハケ 目	不明	沈線有り
"	"	9	甕	18		1~4mm大の小石が混る、 砂粒を含む	淡黄褐色	不良	ヨコナデ、ハケ 目摩耗	不明	黒班有り
"	"	10	"			1~4mm大の小石が混る、 砂粒を含む	灰黄褐色/黄茶褐色	普通	ヨコナデ	ナデ	細片
"	"	11	"			1~4mm大の小石が混る、 砂粒を含む	灰黄褐色/黄褐色	やや不良	ヨコナデ、ハケ 目	ナデ、摩耗	細片
"	"	12	"			1~4mm大の小石が混る、 砂粒を含む	黄褐色	不良	不明	不明	細片
"	"	13	"	27.8		1~4mm大の小石が混る、 砂粒を含む	暗黄灰褐色	やや不良	ナデ、不明	ナデ	
"	"	14	"	28		1~5mm大の小石が混る、 砂粒を含む	暗黄褐色/黄褐色	やや不良	ヨコナデ、ハケ 目、不明	ナデ	黒班有り
"	"	15	"	26.8		1~6mm大の小石が混る、 砂粒を含む	淡黄赤褐色	不良	不明	不明	
"	"	16	"			1~3mm大の小石が混る、 砂粒を含む	黄灰褐色/黄褐色	普通	ナデ	ナデ	細片
"	"	17	"			1~5mm大の小石が混る、 砂粒を含む	暗黄褐色	やや不良	不明	ナデ	細片
"	"	18	"			1~4mm大の小石が混る、 砂粒を含む	暗褐色	普通	ヨコナデ	ナデ	細片
"	"	19	"			1~5mm大の小石が混る、 砂粒を含む	淡黄褐色/暗茶黒褐色	やや不良	ハケ目、ハケ目 後ナデ	ナデ、不明	スス付着
"	"	20	"			1~5mm大の小石が混る、 砂粒を含む	黄灰褐色/黄褐色	やや不良	ナデ、不明	不明	
"	"	21	"			1~4mm大の小石が混る、 砂粒を含む	黄灰褐色/暗灰褐色	普通	ハケ目、ナデ	ナデ	
"	"	22	"			1~4mm大の小石が混る、 砂粒を含む	暗黄灰褐色	不良	不明	不明	
"	"	23	"			1~5mm大の小石が混る、 砂粒を含む	淡黄灰色	やや不良	ナデ	不明	
"	"	24	"			1~7mm大の小石が混る、 砂粒を含む	黄茶褐色/暗褐色	やや不良	ハケ目、ナデ	不明	
"	"	25	高坏			1~5mm大の小石が混る、 砂粒を含む	黄褐色	やや不良	ハケ目	ナデ	黒班有り
"	"	26	甕蓋			1~6mm大の小石が混る、 砂粒を含む	淡赤灰褐色/淡黄褐色	不良	不明	ナデ	つまみ部
第16図	SB70	1	壺	16		1~6mm大の小石が混る、 砂粒を含む	茶黄褐色	不良	不明	不明	黒班有り
"	"	2	甕蓋			1~6mm大の小石が混る、 砂粒を含む	黄灰褐色/黄灰黒褐色	やや不良	不明	ナデ 磨きがかかる	
"	"	3	" "			1~4mm大の小石が混る、 砂粒を含む	黄灰褐色/淡黄黒灰褐色	不良	不明	不明	黒班有り
"	"	4	壺			1~3mm大の小石が混る、 砂粒を含む	淡黄灰褐色	不良	不明	不明	黒班有り
"	"	5	鉢	26		1~7mm大の小石が混る、 赤粒子が混る、砂粒を含む	暗黄茶褐色/暗黄灰褐色	やや不良	不明	不明	
"	"	6	甕	20.4		1~4mm大の小石が混る、 砂粒を含む	暗黄黒灰褐色/暗茶灰褐色	普通	ヨコナデ、ハケ 目	ナデ	黒班有り
"	"	7	"	12		1~5mm大の小石が混る、 砂粒を含む	暗茶褐色/暗黄灰褐色	やや不良	ヨコナデ、ハケ 目、不明	ナデ	
"	"	8	"	37.6		1~10mm大の小石が混る、 砂粒を含む	黒褐色一部黄褐色有り	やや不良	ヨコナデ、ハケ 目	不明	スス付着
"	"	9	"	19		1~5mm大の小石が混る、 砂粒を含む	暗灰黒褐色	やや不良	ヨコナデ、ハケ 目	ナデ	スス付着

表3 S B 69・70出土土器観察表

挿図 番号	出土 遺構	遺物 番号	器 類	口径 (cm)	器高 (cm)	胎 土	色 調	焼成	調 整		備 考
									外 面	内 面	
第16図	SB70	10	甕	22.6		1~5mm大の小石が混る、 砂粒を含む	淡黄褐色	やや不良	ヨコナデ、不明	ナデ	
"	"	11	"			1~4mm大の小石が混る、 砂粒を含む	暗褐色	やや不良	ヨコナデ、ハケ目	ナデ	黒班有り、細片
"	"	12	"	23		1~3mm大の小石が混る、 砂粒を含む	暗褐色/暗茶褐色	やや不良	ヨコナデ、不明 ハケ目	ナデ	
"	"	13	"			1~4mm大の小石が混る、 砂粒を含む	灰黄褐色/茶褐色	やや不良	ヨコナデ、ハケ目、 不明	ナデ	細片
"	"	14	"	26		1~6mm大の小石が混る、 砂粒を含む	暗黄赤褐色/暗灰褐色	不良	不明	不明	
"	"	15	"	27.8		1~4mm大の小石が混る、 砂粒を含む	明茶褐色	やや不良	不明、ハケ目、 ヨコナデ	不明	
"	"	16	"	21.2		1~5mm大の小石が混る、 砂粒を含む、赤粒子が混る	淡黄茶褐色/淡茶褐色	やや不良	不明	ナデ	
第17図	"	17	"	20.8		1~4mm大の小石が混る、 砂粒を含む	暗黄褐色/茶褐色	やや不良	ヨコナデ、ハケ目、 不明	ナデ	
"	"	18	鉢	16		1~4mm大の小石が混る、 砂粒を含む	暗灰茶褐色/黄灰褐色	やや不良	ヨコナデ、ハケ目	ハケ目、ナデ	
"	"	19	甕			1~4mm大の小石が混る、 砂粒を含む	淡黄灰褐色	やや不良	不明、ハケ目	ナデ	細片
"	"	20	"	20.2		1~3mm大の小石が混る、 砂粒を含む、赤粒子が混る	暗黄褐色	普通	ハケ目後ヨコ ナデ	ヨコナデ、ナデ	
"	"	21	"	27		1~5mm大の小石が混る、 砂粒を含む	淡黄褐色	やや不良	不明	ヨコナデ	
"	"	22	"	16.4		1~4mm大の小石が混る、 砂粒を含む	淡黄茶褐色	やや不良	不明	不明	
"	"	23	"			1~4mm大の小石が混る、 砂粒を含む	茶黄褐色/暗褐色	不良	不明	不明	
"	"	24	"			1~5mm大の小石が混る、 砂粒を含む	暗黄褐色/暗黄茶褐色	やや不良	ヘラ調整後ナデ	ナデ	
"	"	25	"			1~4mm大の小石が混る、 砂粒を含む	黄茶褐色/灰黄褐色	不良	不明	不明	
"	"	26	"			1~5mm大の小石が混る、 砂粒を含む	黄茶褐色	不良	ハケ目、不明	ナデ	黒班有り
"	"	27	"			1~3mm大の小石が混る、 砂粒を含む	黄茶灰褐色/暗灰黄褐色	やや不良	ハケ目、ナデ	不明	
"	"	28	"			1~5mm大の小石が混る、 砂粒を含む	茶黄褐色	不良	ハケ目、不明	不明	
"	"	29	"			1~6mm大の小石が混る、 砂粒を含む	黄灰赤褐色	不良	不明	不明	
"	"	30	"			1~4mm大の小石が混る、 砂粒を含む	暗黄灰褐色/黄褐色	やや不良	ハケ目、ヘラ削り、 不明	ヘラ調整	
"	"	31	"			1~5mm大の小石が混る、 砂粒を含む	黄灰褐色	普通	ハケ目、ナデ	ヘラ調整	
"	"	32	"			1~5mm大の小石が混る、 砂粒を含む	黄灰褐色	普通	ナデ	ナデ	
"	"	33	"			1~5mm大の小石が混る、 砂粒を含む	黄茶褐色/黒褐色	やや不良	不明	ナデ	
"	"	34	"			1~5mm大の小石が混る、 砂粒を含む	茶灰褐色/暗黄灰褐色	やや不良	ハケ目、不明	ヘラ調整	
"	"	35	壺			1~5mm大の小石が混る、 砂粒を含む	淡黄灰褐色/暗黄灰褐色	不良	不明	不明	
"	"	36	甕			1~4mm大の小石が混る、 砂粒を含む	黄褐色/暗褐色	不良	不明	不明	
"	"	37	甗			1~5mm大の小石が混る、 砂粒を含む	黄茶暗灰褐色/暗褐色	不良	ハケ目	ナデ	
"	"	38	"			1~7mm大の小石が混る、 砂粒を含む	淡黄灰褐色	やや不良	ハケ目、ハケ目 後ナデ	ナデ	
"	"	39	甕			1~5mm大の小石が混る、 砂粒を含む	茶黄褐色/茶褐色	不良	不明	不明、ナデ	黒班有り
"	"	40	壺			1~5mm大の小石が混る、 砂粒を含む	暗黄茶褐色/淡黄褐色	やや不良	不明	不明	
"	SB73	1	"	20		1~3mm大の小石が混る、 砂粒を含む	黄茶褐色	不良	不明	不明	
"	"	2	甕			1~5mm大の小石が混る、 砂粒を含む	黄灰黒褐色	普通	ハケ目	ナデ	

表4 S B 70・73出土土器観察表

SK42 (第10・18・28・33図、表5・11・14、図版6)

SB70の東側にあり、SK38と同様土壌の中ではやや大きい。プランは長方形に近く、長軸を北西方向から南東方向にとる。規模は長さ2.8m、幅1.2mである。2段掘りになっており、最深部は40cm前後で床面は平坦である。最浅部は5cm前後である。

出土遺物は土器では甕、鉢などが出土している。石器では、サヌカイト製の石鏃が出土している。

SK43 (第10図、図版7)

調査区のほぼ中央にあり、SK44を切っている。プランは楕円形である。長さ1.4m、幅1mである。深さは11cm前後である。遺物は出土していない。

SK44 (第10図、図版7)

SK43の東側にあり、プランは楕円形である。長さ1.4m、幅90cmである。深さは10cm前後である。遺物は出土していない。

SK45 (第10図、図版7)

調査区の南側にあり、プランは楕円形である。規模は長さ90cm、幅60cmである。最深部は28cm前後で、北側の壁が揺るやかに立ち上がる。遺物は出土していない。

SK46 (第10・19・28・31・33図、表5・11・14、図版7)

SK45の南側に位置し、やや変則的な隅丸長方形で、長軸を北東方向から南西方向にとる。規模は長軸1.8m、短軸1mである。深さは17cm前後である。

出土遺物は多く、土器では壺、甕が出土しており、石器では、石鏃、石庖丁、太型蛤刃石斧などが出土している。

SK47 (第11・20・28・34図、表5・6・11・14、図版7)

SB70の南側にあり、プランは円形に近い楕円形である。規模は長さ1.2m、幅1mである。

出土遺物は、土器では、甕が出土しており、石器では石鏃や磨石が出土しているほか、規模の小さな土壌であるにもかかわらず、多量のサヌカイトの剥片等が出土した。また、出土した石鏃に完形品はなかった。

SK48 (第11図)

SK47の東側にあり、プランは楕円形である。規模は長さ1m、幅70cmである。深さは10cm前後である。遺物は出土していない。

SK49 (第11・20・28図、表6・11、図版8)

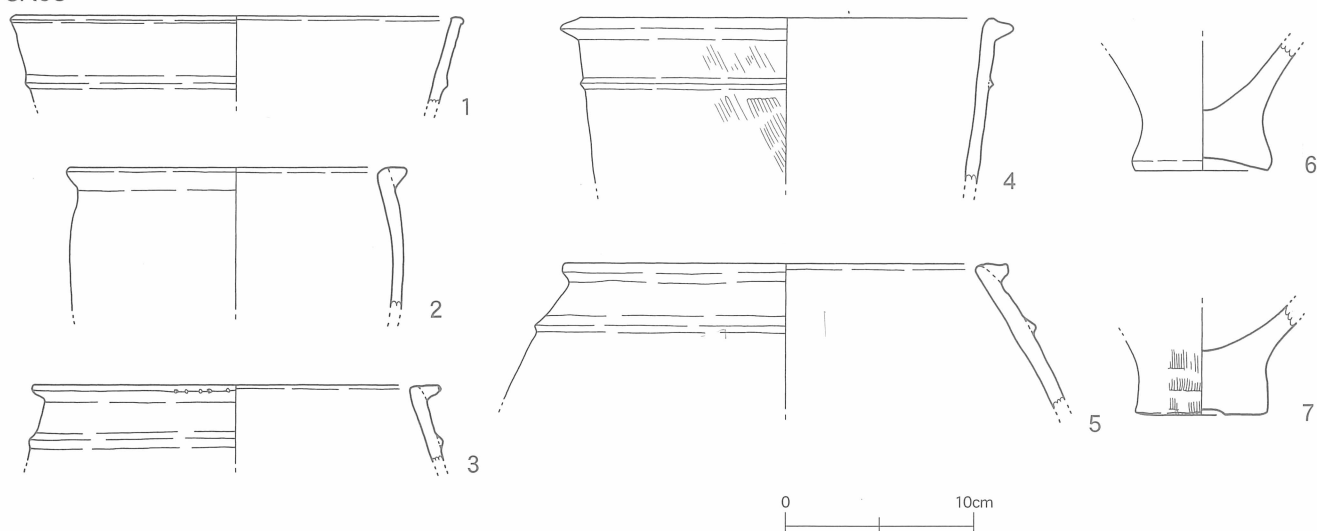
調査区の中央より南側に位置している。SK50に切られているため、規模がはっきりしないが、深い部分は約50cmあり、プランは角丸長方形と思われる。幅は80cmあり、3段掘りになっている。深さは最深部で50cm前後、最浅部で14cm前後である。

出土遺物は、土器では、壺、甕が出土しており、石器ではサヌカイト製の石鏃が出土している。また、木片のような炭化物も出土している。

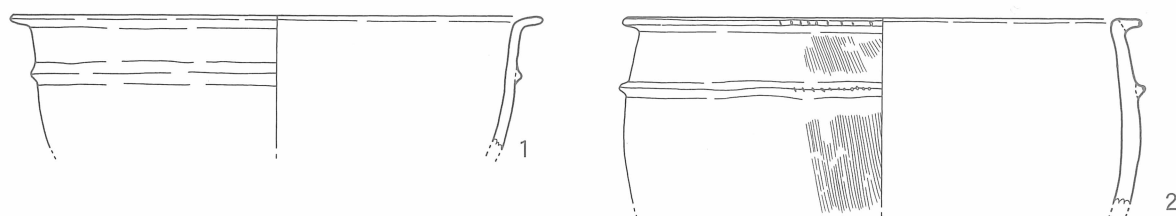
SK50 (第12・21・22・23・31・34・35図、表6・7・12・14・15、図版8)

SK49の南西にある。規模は一辺3mの方形で、深さは80cm前後あり本遺跡最大の土壌である。遺構の検出の段階で東南方向に石列が見えており、初めは井戸のつもりで掘り下げていたが、石列は一

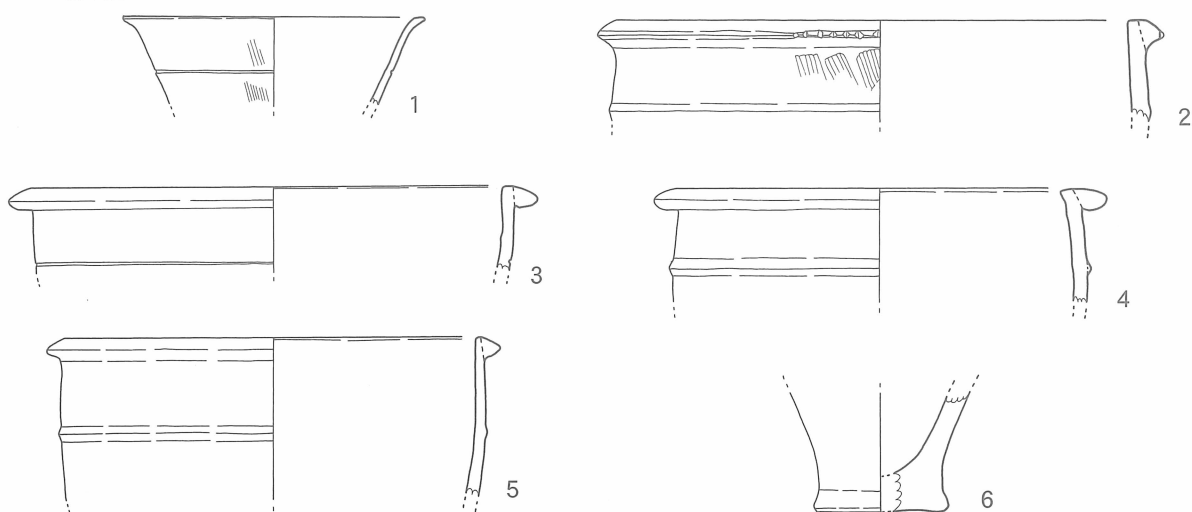
SK38



SK39



SK42



第18図 土墳（SK38・39・42）出土土器実測図 [1/4]

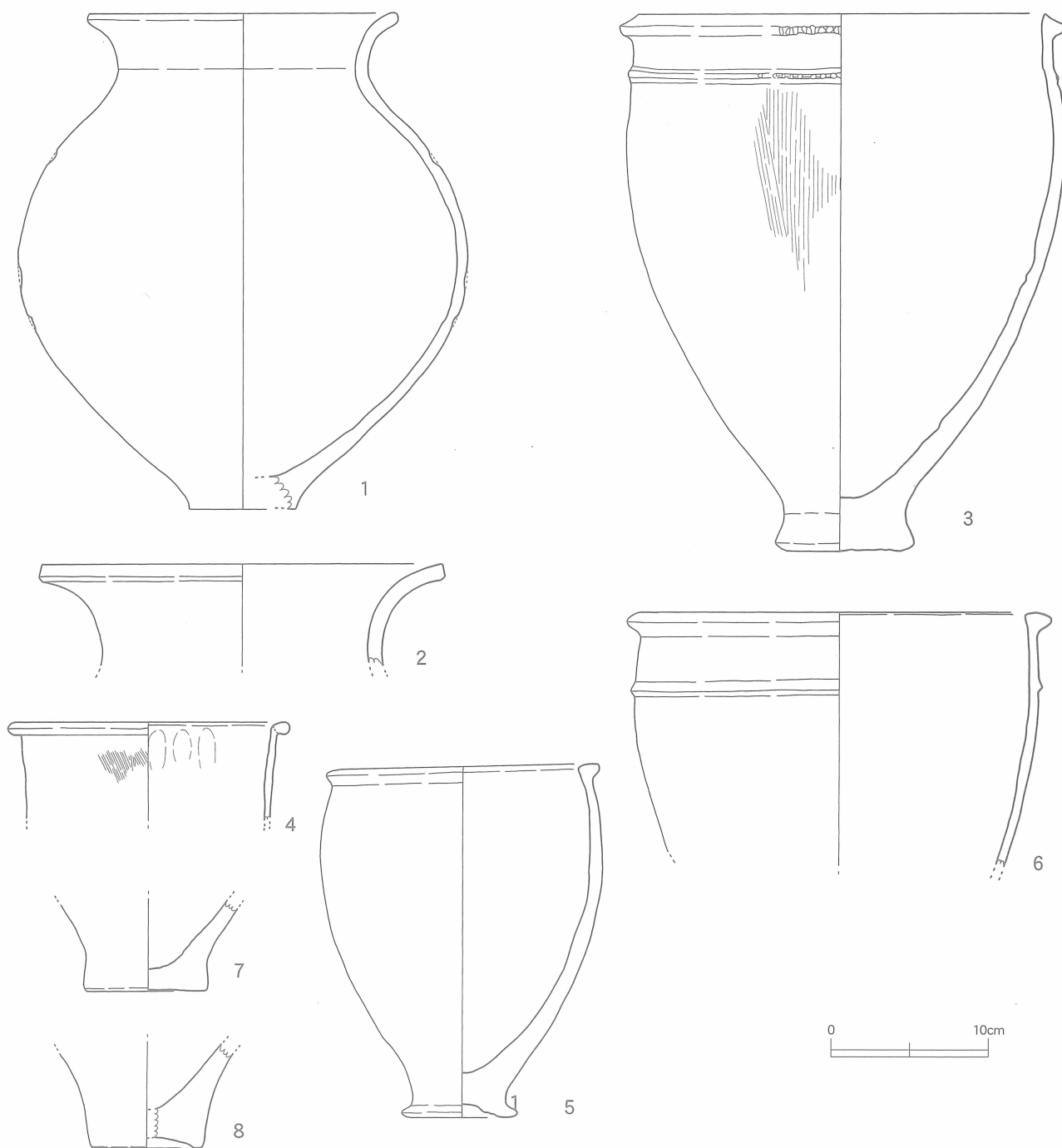
周せず、また土層などから判断して、土石が多量に流れ込んできたものと考えられる。

出土遺物は、土器では壺、甕が多量に出土しており、特に床面からは完形品の甕が伏せた状態で見つかった。石器も多量に出土しており、石鏃は黒曜石、サヌカイト製を含めて24点出土しており、石錐は4点出土しているが完形品は少ない。その他、砥石、くぼみ石、磨石、台石、石皿が出土している。また、掘り下げて行く途中で、サヌカイトの剥片等が多量に出土した。

SK51（第11・23図、表7、図版8）

調査区東側で見つかっており、SD01を切っている。プランは径1mの円形である。

出土遺物は、甕、埴が出土している。



第19図 土墳（SK46）出土土器実測図 [1/4]

SK52（第11・23・35図、表7・15、図版9）

SK50の南東にあり、プランは楕円形である。規模は長さ1.3m、幅80cmで、二段掘りになっている。最深部は25cm前後で、最浅部は11cm前後である。

出土遺物は、土器では甑が出土しており、石器では台石が出土している。

SK53（第11図、図版9）

SK52の南東にあり、プランはやや変形した隅丸方形である。規模は長さ1.5m、幅90cm前後である。遺物は出土していない。

SK54 (第11・23図、表7、図版9)

調査区の南西角にあり、プランは隅丸長方形である。規模は長さ1.7m、幅1.2mである。深さは、30cm前後である。

出土遺物は、甕が出土している。

SK55 (第11図、図版9)

調査区の東南角にあり、SB71に切られている。プランは、隅丸長方形である。規模は長軸1m、短軸80cmである。深さは最深部で10cm前後、最浅部で4cm前後である。遺物は出土していない。

SK56 (第11図)

調査区の北側にあり、SB68に切られている。プランは1辺2mの方形で、深さは10cm前後である。遺物は出土していない。SB72の一部である可能性も考えられるが不明である。

SK57 (第11・23図、表7・15、図版8)

SK50の西側にあり、当遺構に切られている。プランは方形に近く、1辺が3mである。遺構は比較的浅く、深さは8cm前後である。

出土遺物は、土器では壺、甕が出土しており、石器では磨石が出土している。

SK58 (第11・23・28・36図、表8・11)

SK47の北側に位置しており、プランは円形である。規模は径80cmで、深さは最深部で30cm前後である。

出土遺物は土器では甕が1点と、石器ではサヌカイト製の石鏃とくぼみ石が出土している。

溝 (SD)

溝は本遺跡では1条のみ見つかり、一部しか検出できなかったため性格については判断できない。

SD01 (第14・25・30図、表10・13)

調査区の東側で見つかり、南北に流れている。北側が残りがよく深さ約90cmで、南側は途中で途切れてしまっている。幅は60cm前後である。

出土遺物は土器では甕が出土しており、石器では石鏃が出土している。

不明遺構 (SX)

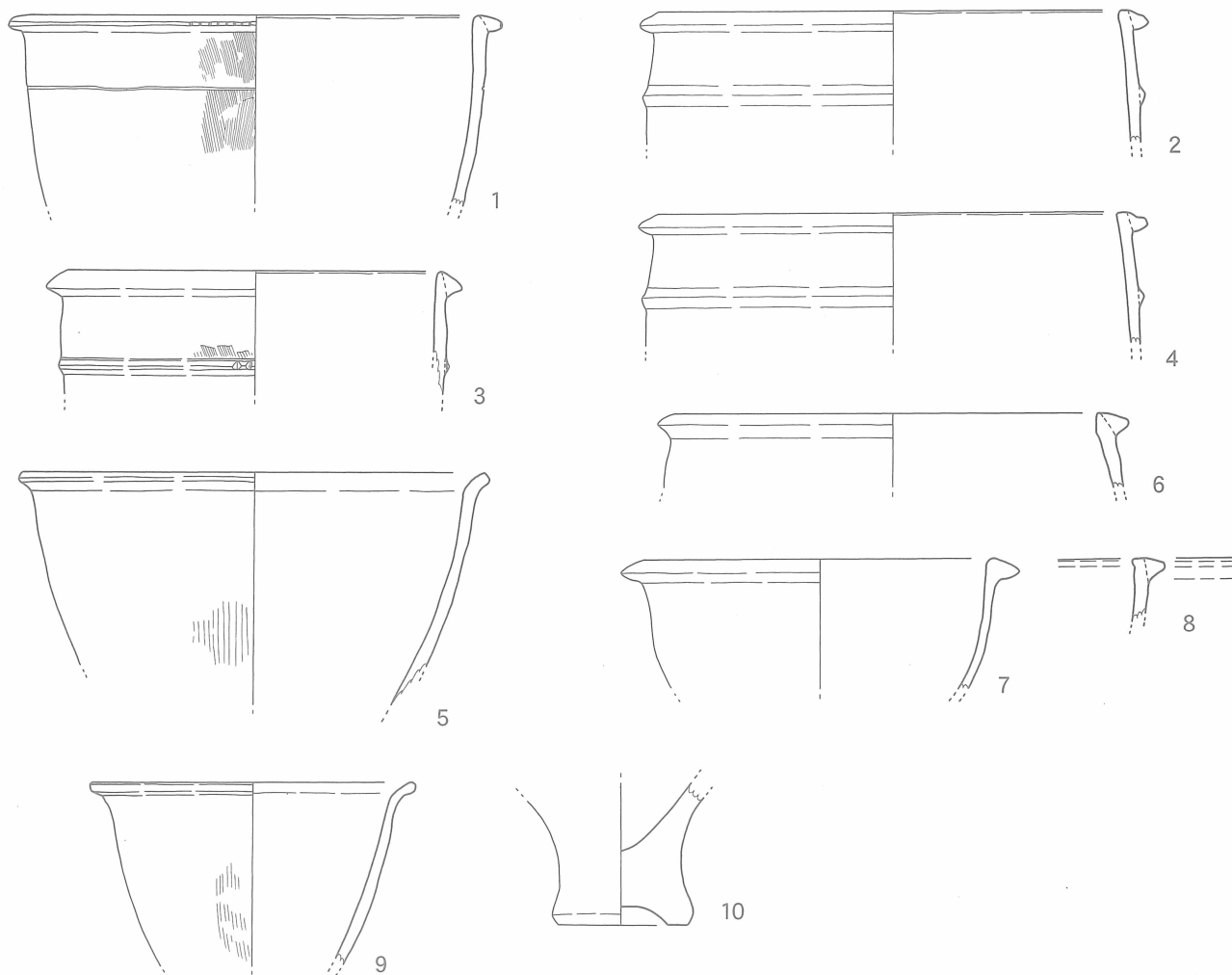
不明遺構は、全部で5基見つかり、SX01、SX02、SX05は、調査区北側の東の端で検出されている。どれも遺構の一部を礫層に切られている。また、SX03、04は調査区の南側で検出された。

SX01 (第13・24図、表9、図版10)

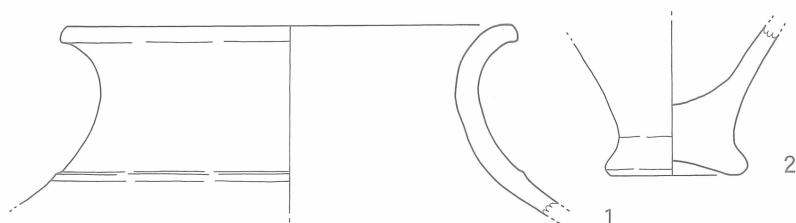
SK39の南東にあり、プランは不整形である。北側は礫層で切られており、規模は不明である。深さは4cm前後である。

出土遺物は、壺、甕が出土している。

SK47



SK49



第20図 土壌（SK47・49）出土土器実測図 [1/4]

SX02（第13・24・31図、表9・14、図版10）

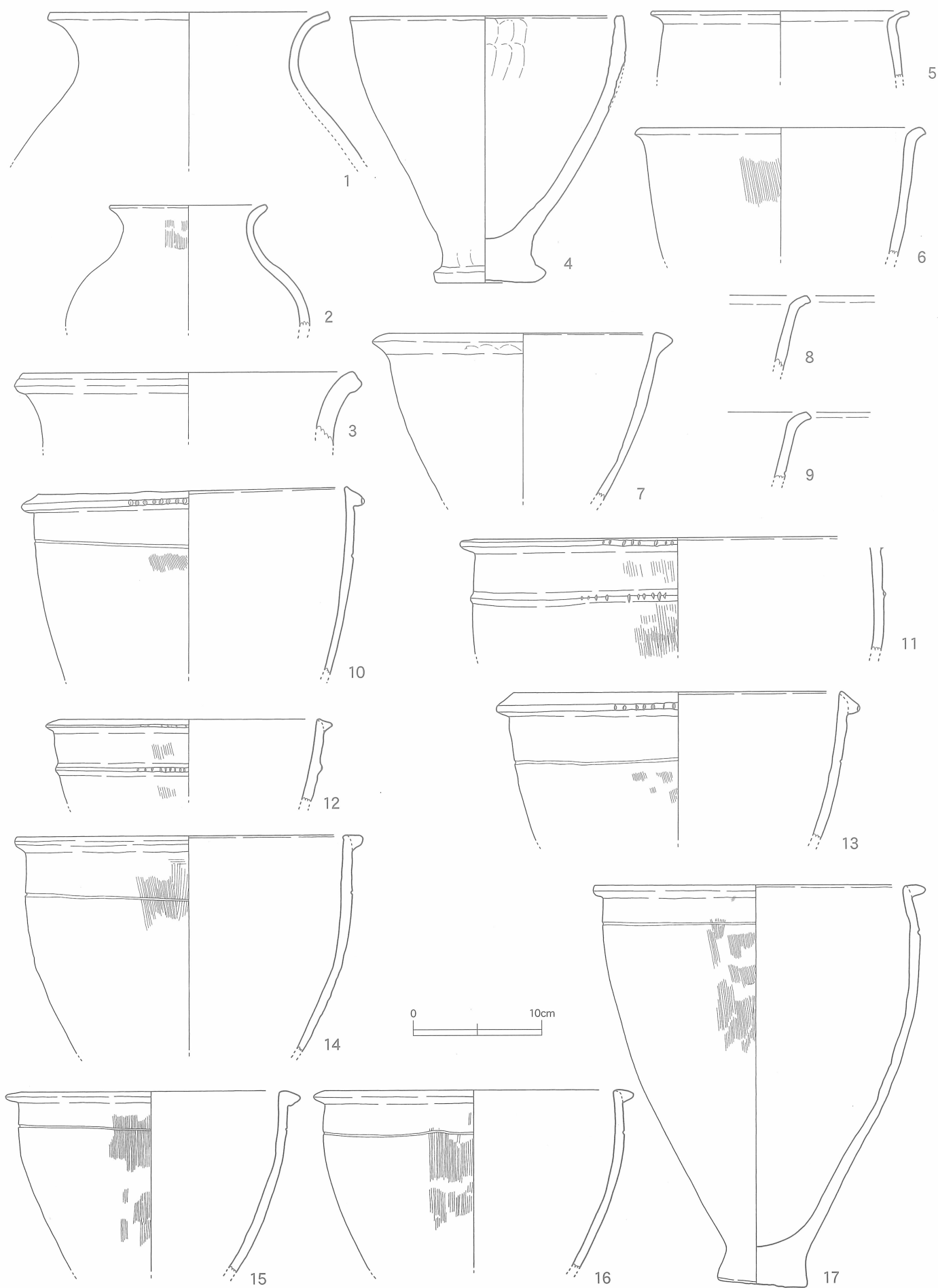
SX02は、SX01の東側にあり、調査区の東の端にあるため遺構の1/10ほどしか検出できなかった。遺構の種別の確認はできなかったが、柱穴らしきものがあり、住居の可能性もある。規模は不明であるが、深さは29cm前後である。

出土遺物は、土器では壺、甕が出土しており、特に甕はSK50から出土したものと類する。石器では、片岩製の石庖丁の未完成品と砂岩でできた磨製石鏃が出土した。

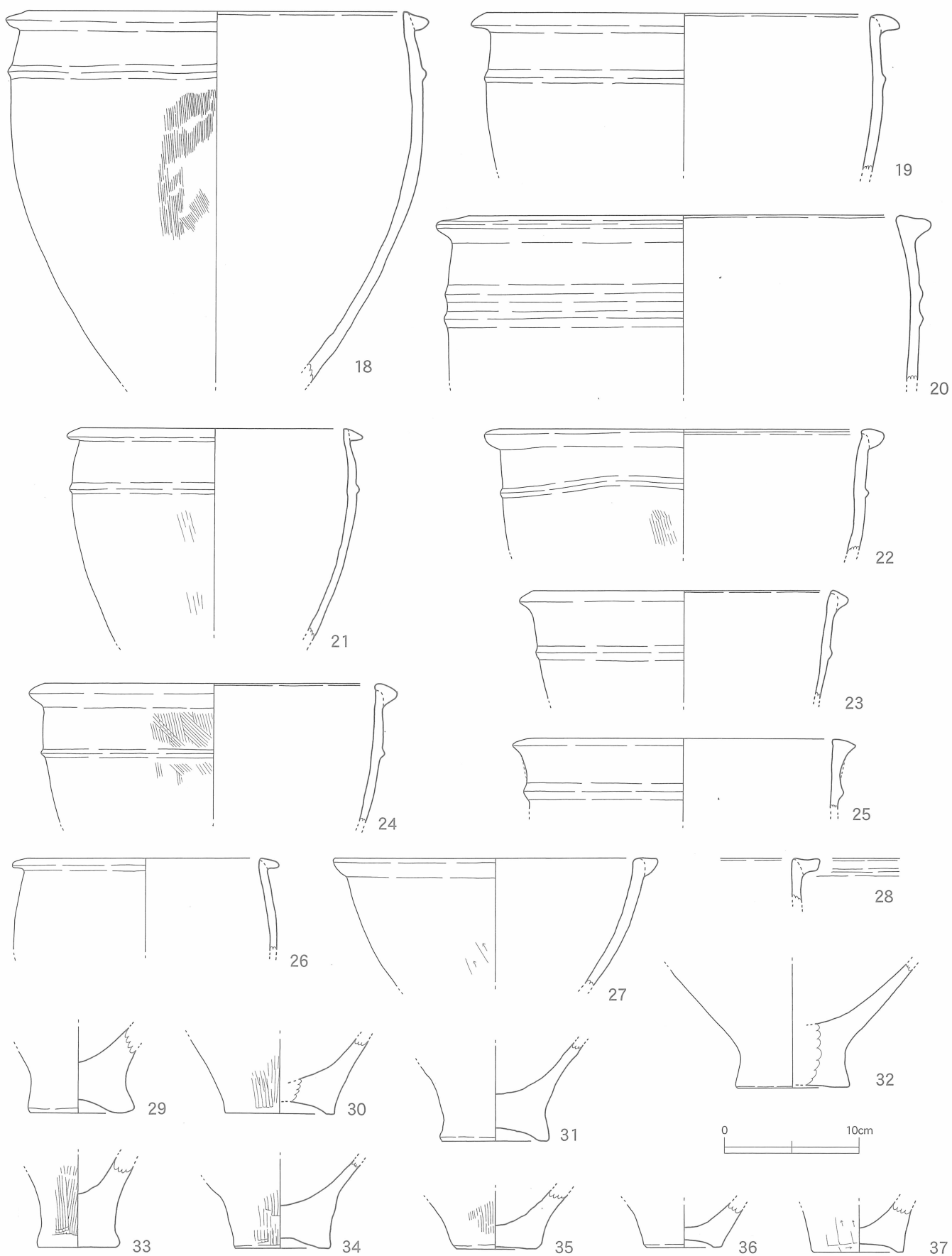
SX03（第13・24・36図、表9・15、図版10）

SX03は、SK54の北側にあり、東側を礫層に切られる。隅丸長方形に近いが規模は不明である。深さは20cm前後である。

出土遺物は、土器では甕が出土しており、石器では台石が出土している。

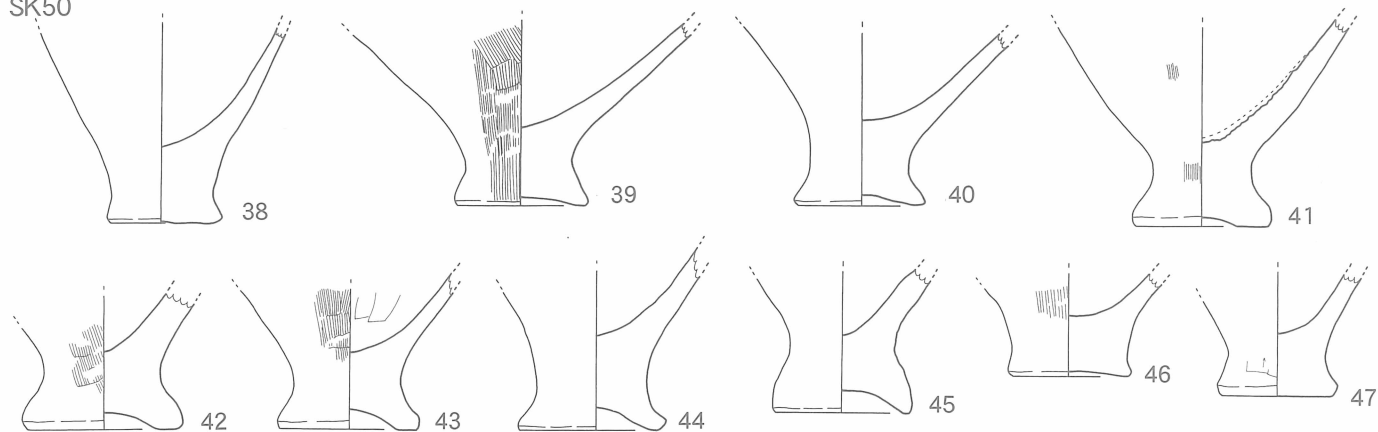


第21図 土壙（SK50その1）出土土器実測図 [1/4]

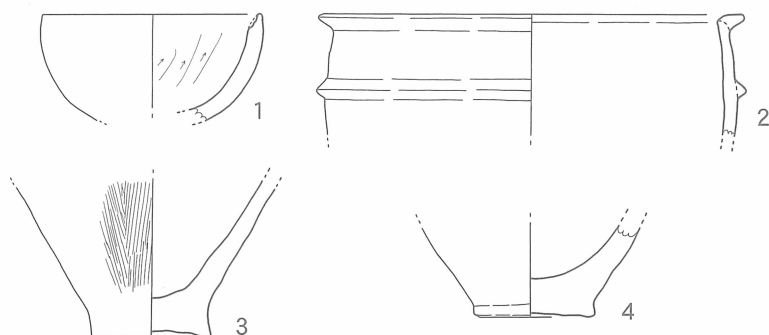


第 2 2 図 土墳（SK50その2）出土土器実測図 [1/4]

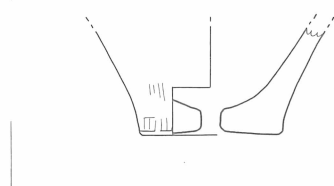
SK50



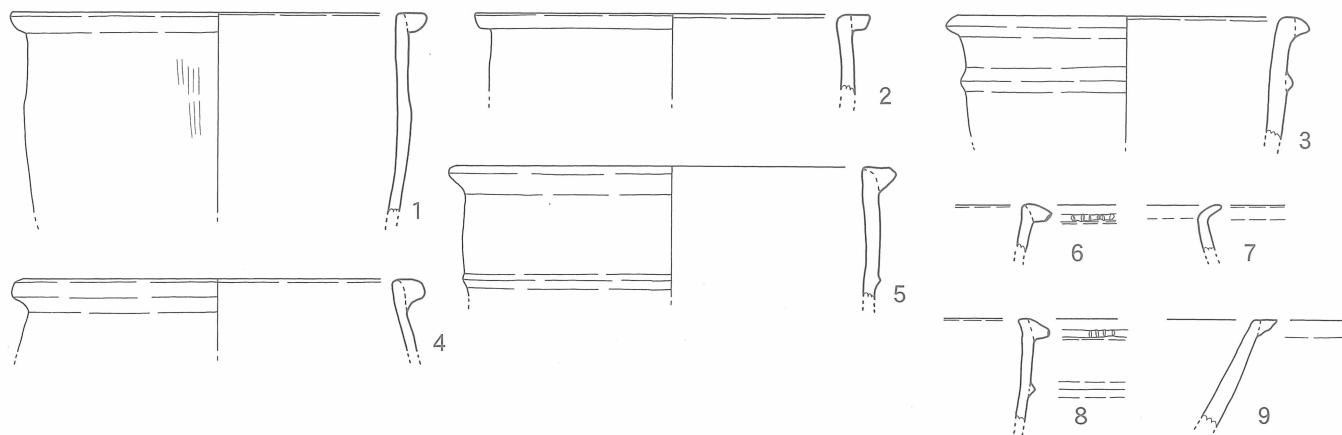
SK51



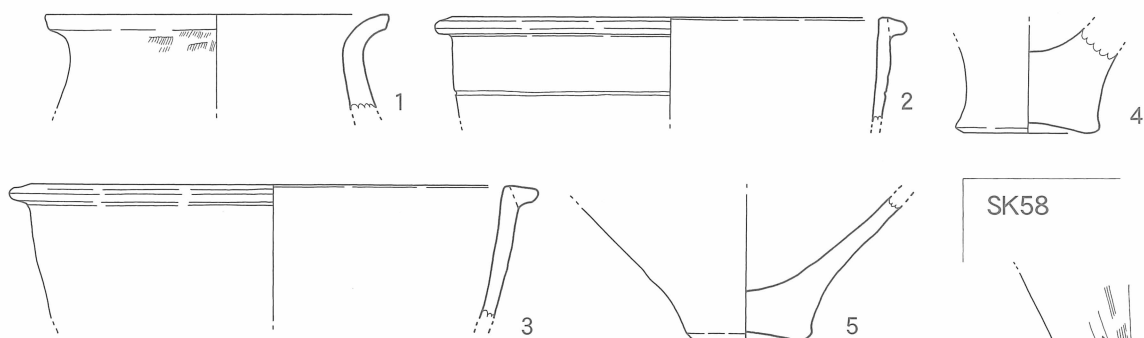
SK52



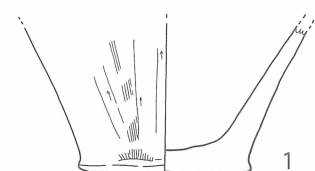
SK54



SK57



SK58



第23図 土壙（SK50その3 51・52・54・57・58）出土土器実測図 [1/4]

挿図 番号	出土 遺構	遺物 番号	器 類	口径 (cm)	器高 (cm)	胎 土	色 調	焼成	調 整		備 考
									外 面	内 面	
第18図	SK38	1	鉢	23.4		1~5mm大の小石が混る、 砂粒を含む	暗黄茶褐色/淡黄褐色	やや不良	不明	ナデ	
"	"	2	甕	18		1~4mm大の小石が混る、 砂粒を含む	暗黄褐色/淡黄褐色	不良	不明	不明	
"	"	3	"	21.4		1~5mm大の小石が混る、 砂粒を含む、赤粒子が混る	暗黄褐色	やや不良	不明	不明	
"	"	4	"	22		1~6mm大の小石が混る、 砂粒を含む	暗黄褐色/黄茶褐色	やや不良	ヨコナデ、ハケ 目	不明	
"	"	5	"	23.4		1~8mm大の小石が混る、 砂粒を含む、赤粒子が混る	淡黄褐色	やや不良	ヨコナデ、不明	ナデ	
"	"	6	"			1~4mm大の小石が混る、 砂粒を含む	黄茶褐色/灰黒褐色	普通	ナデ、不明	ナデ	
"	"	7	"			1~5mm大の小石が混る、 砂粒を含む、赤粒子が混る	黄茶褐色/淡黄褐色	やや不良	ハケ目、不明	ナデ	
"	SK39	1	"	27.8		1~5mm大の小石が混る、 砂粒を含む	黄灰褐色	普通	ヨコナデ、ナデ	ヨコナデ、ナデ	黒班有り
"		2	"	27		1~4mm大の小石が混る、 砂粒を含む	淡黄灰褐色	普通	ヨコナデ、ハケ 目	ヨコナデ、ナデ	黒班有り
"	SK42	1	鉢	15.8		1~3mm大の小石が混る、 砂粒を含む	暗褐色	やや不良	不明、ハケ目	ナデ	沈線有り
"	"	2	甕	30		1~4mm大の小石が混る、 砂粒を含む	暗黄褐色	普通	ハケ目、ヨコナ デ	ナデ	
"	"	3	"	25.4		1~4mm大の小石が混る、 砂粒を含む	黄灰橙褐色/橙褐色	不良	不明	不明	沈線有り
"	"	4	"	21.4		1~8mm大の小石が混る、 砂粒を含む	灰黄褐色/暗黄褐色	不良	不明	不明	
"	"	5	"	22		1~4mm大の小石が混る、 砂粒を含む	黄褐色/淡黄褐色	不良	不明	不明	
"	"	6	"			1~3mm大の小石が混る、 砂粒を含む	淡橙褐色/淡黄褐色	やや不良	ハケ目、ヨコナ デ、ナデ	不明	
第19図	SK46	1	壺	19.8	31.4	1~4mm大の小石が混る、 砂粒を含む	赤茶黄褐色/黄茶褐色	やや不良	磨きがかかる	磨きがかかる	黒班有り
"	"	2	"	25.6		1~4mm大の小石が混る、 砂粒を含む	淡黄褐色	不良	不明	不明	
"	"	3	甕	26	34	1~11mm大の小石が混る、 砂粒を含む	暗黄赤褐色/暗黄褐色	普通	ナデ、ハケ目	ナデ	
"	"	4	"	17		1~8mm大の小石が混る、 砂粒を含む	暗茶褐色	やや不良	ヨコナデ、ハケ 目後ナデ	不明、ナデ(指 頭ナデ)	
"	"	5	"	15	22.2	1~5mm大の小石が混る、 砂粒を含む	暗茶褐色	やや不良	不明	ヨコナデ、ナデ	
"	"	6	"	27		1~6mm大の小石が混る、 砂粒を含む	暗黄灰褐色	不良	不明	不明	黒班有り
"	"	7	"			1~8mm大の小石が混る、 砂粒を含む、赤粒子が混る	淡黄褐色	やや不良	不明	不明	
"	"	8	"			1~5mm大の小石が混る、 砂粒を含む	淡黄明茶褐色/黒褐色	やや不良	不明	不明	
第20図	SK47	1	"	24.6		1~4mm大の小石が混る、 砂粒を含む、赤粒子が混る	暗褐色/暗黄褐色	やや不良	ヨコナデ、ハケ 目	不明	黒班有り、沈線
"	"	2	"	28		1~4mm大の小石が混る、 砂粒を含む	黄褐色/淡黄灰褐色	不良	不明	不明	
"	"	3	"	20.6		1~5mm大の小石が混る、 砂粒を含む	茶黄褐色	やや不良	不明、ハケ目	不明	
"	"	4	"	28		1~4mm大の小石が混る、 砂粒を含む	黄褐色/淡黄灰褐色	不良	不明	不明	
"	"	5	鉢	26		1~7mm大の小石が混る、 砂粒を含む	暗黄褐色/黄褐色	やや不良	不明、ハケ目	ナデ	
"	"	6	甕	24		1~4mm大の小石が混る、 砂粒を含む	淡黄灰褐色/淡茶黄褐色	やや不良	不明	ヨコナデ、ナデ	
"	"	7	甕	22		1~4mm大の小石が混る、 砂粒を含む	黄褐色	不良	不明	不明	
"	"	8	甕			1~3mm大の小石が混る、 砂粒を含む	黄茶褐色	やや不良	ナデ、不明	ナデ	細片
"	"	9	鉢	18		1~6mm大の小石が混る、 砂粒を含む	暗黄褐色/淡黄褐色	不良	ハケ目	不明	

表5 SK38・39・42・46・47出土土器観察表

挿図 番号	出土 遺構	遺物 番号	器 類	口径 (cm)	器高 (cm)	胎 土	色 調	焼成	調 整		備 考
									外 面	内 面	
第20図	SK47	10	甕			1~4mm大の小石が混る、 砂粒を含む	黄茶褐色/暗褐色	やや不良	ハケ目、不明、 ナデ	ナデ	
"	SK49	1	壺	23.6		1~5mm大の小石が混る、 砂粒を含む、赤粒子が混る	黄灰褐色	やや不良	不明	不明	
"	"	2	甕			1~4mm大の小石が混る、 砂粒を含む	黄茶褐色	やや不良	不明	不明	
第21図	SK50	1	壺	21.6		1~5mm大の小石が混る、 砂粒を含む、赤粒子が混る	暗黄灰褐色	不良	不明	不明	
"	"	2	"	12		1~5mm大の小石が混る、 砂粒を含む	暗黄茶褐色	やや不良	ヨコナデ、ハケ 目、不明	不明	
"	"	3	"	25.6		1~7mm大の小石が混る、 砂粒を含む、赤粒子が混る	淡黄褐色	やや不良	不明	不明	
"	"	4	甕	21.3	20.7	1~5mm大の小石が混る、 砂粒を含む、赤粒子が混る	暗黄茶褐色	やや不良	ハケ目後ヨコ ナデ、不明	ヨコナデ、ヘラ 調整後ナデ	黒班有り
"	"	5	"	20		1~5mm大の小石が混る、 砂粒を含む	明茶褐色	やや不良	不明	不明、ナデ	
"	"	6	"	21.8		1~6mm大の小石が混る、 砂粒を含む、赤粒子が混る	暗黄褐色	やや不良	ヨコナデ、ハケ 目、不明	ヨコナデ、ナデ	黒班有り
"	"	7	"	20.8		1~5mm大の小石が混る、 砂粒を含む、赤粒子が混る	暗褐色/淡黄褐色	やや不良	不明、押圧痕有 り	不明	黒班有り
"	"	8	"			1~3mm大の小石が混る、 砂粒を含む	暗褐色	やや不良	ヨコナデ、ハケ 目	ヨコナデ、ナデ	細片
"	"	9	"			1~5mm大の小石が混る、 砂粒を含む	暗黄灰褐色	やや不良	ヨコナデ、ハケ 目	不明	沈線
"	"	10	"	24		1~7mm大の小石が混る、 砂粒を含む、赤粒子が混る	黄茶褐色/黄明茶褐色	やや不良	不明、ハケ目後 ナデ	不明	沈線
"	"	11	"	33.6		1~4mm大の小石が混る、 砂粒を含む	暗褐色/暗黄褐色	やや不良	ヨコナデ、ハケ 目後ヨコナデ	ヨコナデ、ナデ	スス付着
"	"	12	"	20		1~4mm大の小石が混る、 砂粒を含む、赤粒子が混る	黄灰褐色	やや不良	ヨコナデ、ハケ 目	不明	
"	"	13	"	25.4		1~5mm大の小石が混る、 砂粒を含む	淡黄茶黒灰褐色/明茶褐色	やや不良	ヨコナデ、不明 ハケ目	不明	沈線
"	"	14	"	24.2		1~5mm大の小石が混る、 砂粒を含む、赤粒子が混る	暗茶黄褐色/黄茶灰褐色	やや不良	ヨコナデ、ハケ 目、不明	不明	沈線
"	"	15	"	20		1~5mm大の小石が混る、 砂粒を含む、赤粒子が混る	暗黄黒灰褐色/暗黄褐色	やや不良	ヨコナデ、ハケ 目、不明	ナデ	沈線
"	"	16	"	23		1~5mm大の小石が混る、 砂粒を含む	暗黄灰黒褐色	やや不良	不明、ハケ目	不明、ナデ	沈線
"	"	17	"	25.7	30.9	1~3mm大の小石が混る、 砂粒を含む、赤粒子が混る	暗黄茶褐色	やや不良	不明、ハケ目	不明	黒班有り、沈線
第22図	"	18	"	28		1~5mm大の小石が混る、 砂粒を含む	暗茶灰黒褐色/淡黄茶褐色	やや不良	ヨコナデ、ハケ 調整後ナデ	ヨコナデ、ナデ 不明	黒班有り
"	"	19	"	28.2		1~5mm大の小石が混る、 砂粒を含む	淡茶褐色	やや不良	ヨコナデ、不明	不明	
"	"	20	"	32		1~3mm大の小石が混る、 砂粒を含む、赤粒子が混る	淡黄褐色	やや不良	不明	ナデ	
"	"	21	"	19.2		1~4mm大の小石が混る、 砂粒を含む、赤粒子が混る	暗茶灰褐色/淡黄灰褐色	やや不良	不明、ハケ目後 ナデ	ナデ、不明	
"	"	22	"	29.6		1~4mm大の小石が混る、 砂粒を含む、赤粒子が混る	淡黄灰褐色	やや不良	ヨコナデ、不明 ハケ目	ヨコナデ、ナデ 不明	黒班有り
"	"	23	"	22		1~3mm大の小石が混る、 砂粒を含む	淡黄褐色	やや不良	不明	ナデ、不明	
"	"	24	"	24.4		1~3mm大の小石が混る、 砂粒を含む、赤粒子が混る	淡黄茶褐色	普通	ヨコナデ、ハケ 目	ヨコナデ、ナデ	
"	"	25	"	22.2		1~5mm大の小石が混る、 砂粒を含む	淡黄灰褐色/黄灰褐色	やや不良	不明	不明	
"	"	26	"	17.6		1~5mm大の小石が混る、 砂粒を含む	淡黄褐色	やや不良	ヨコナデ、ハケ 目	ナデ	
"	"	27	"	23.8		1~4mm大の小石が混る、 砂粒を含む、赤粒子が混る	暗茶褐色/暗黄褐色	やや不良	ヨコナデ、不明 磨き	磨きがかかる	
"	"	28	甕			1~3mm大の小石が混る、 砂粒を含む、赤粒子が混る	淡黄灰褐色/暗黄灰黒褐色	やや不良	不明	不明	細片
"	"	29	"			1~4mm大の小石が混る、 砂粒を含む	淡黄茶褐色/淡褐色	やや不良	不明	ナデ	

表6 SK47・49・50出土土器観察表

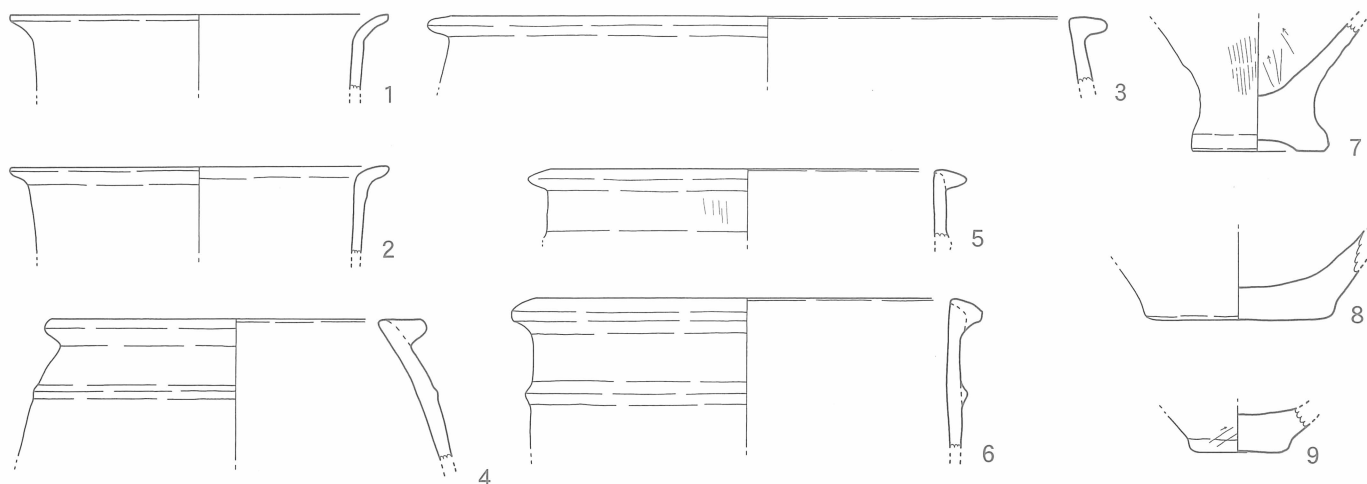
挿図 番号	出土 遺構	遺物 番号	器 類	口径 (cm)	器高 (cm)	胎 土	色 調	焼成	調 整		備 考
									外 面	内 面	
第22図	SK50	30	甕			1~9mm大の小石が混る、 砂粒を含む	暗黄灰褐色	やや不良	ハケ目、不明	ナデ	
"	"	31	"			1~6mm大の小石が混る、 砂粒を含む	明黄茶褐色/暗褐色	やや不良	不明	不明	
"	"	32	"			1~5mm大の小石が混る、 砂粒を含む、赤粒子が混る	黄茶褐色/暗黄褐色	やや不良	不明	ナデ、不明	
"	"	33	"			1~4mm大の小石が混る、 砂粒を含む	淡黄褐色	やや不良	ハケ目	ナデ	
"	"	34	"			1~5mm大の小石が混る、 砂粒を含む	暗黄褐色	やや不良	ハケ目後磨き、 不明、ナデ	磨きがかかる	
"	"	35	"			1~15mm大の小石が混る、 砂粒を含む	淡黄褐色/黄褐色	やや不良	ハケ目	不明	
"	"	36	"			1~5mm大の小石が混る、 砂粒を含む	黄茶褐色	やや不良	不明	不明	
"	"	37	"			1~6mm大の小石が混る、 砂粒を含む	暗黄茶褐色/黒灰褐色	やや不良	ヘラ調整、ナデ	不明	
第23図	"	38	"			1~7mm大の小石が混る、 砂粒を含む、赤粒子が混る	暗茶褐色/淡黄褐色	やや不良	不明	不明	
"	"	39	"			1~3mm大の小石が混る、 砂粒を含む	暗黄褐色/淡褐色	普通	ハケ目、ナデ	ナデ	
"	"	40	"			1~5mm大の小石が混る、 砂粒を含む	淡黄褐色/淡黄灰褐色	やや不良	ナデ	不明、ナデ	黒班有り
"	"	41	"			1~7mm大の小石が混る、 砂粒を含む	赤茶黄褐色/暗黄灰褐色	やや不良	不明、一部ハケ 目	不明	
"	"	42	"			1~5mm大の小石が混る、 砂粒を含む	暗黄茶褐色/淡褐色	やや不良	ハケ目、不明、 ナデ	ナデ	
"	"	43	"			1~4mm大の小石が混る、 砂粒を含む	淡黄褐色	やや不良	ハケ目、ナデ	ヘラ調整、ナデ	
"	"	44	"			1~4mm大の小石が混る、 砂粒を含む	赤茶褐色/暗黄褐色	やや不良	不明、ナデ	不明	
"	"	45	"			1~6mm大の小石が混る、 砂粒を含む	黄茶褐色/暗黄褐色	やや不良	不明	ナデ	
"	"	46	"			1~5mm大の小石が混る、 砂粒を含む	明黄茶褐色/赤茶褐色	やや不良	ハケ目	不明	
"	"	47	"			1~4mm大の小石が混る、 砂粒を含む、赤粒子が混る	黄明茶褐色	やや不良	不明、ヘラ調整	ナデ	
"	SK51	1	壺			1~5mm大の小石が混る、 砂粒を含む	黒色/淡黒色	普通	ナデ	ヘラ調整後ナ デ	
"	"	2	甕	22.6		1~4mm大の小石が混る、 砂粒を含む	淡褐色	普通	ヨコナデ	不明	
"	"	3	"			1~5mm大の小石が混る、 砂粒を含む	暗黄褐色	やや不良	ハケ目、ヨコナ デ、ナデ	不明	
"	"	4	"			1~12mm大の小石が混る、 砂粒を含む	淡黄灰褐色	やや不良	ナデ	不明	
"	SK52	1	甗			1~5mm大の小石が混る、 砂粒を含む	茶黄褐色/暗褐色	やや不良	ハケ目、不明	ナデ	
"	SK54	1	甕	22		1~4mm大の小石が混る、 砂粒を含む	黄褐色	不良	ハケ目、不明		
"	"	2	"	21		1~6mm大の小石が混る、 砂粒を含む	淡黄灰褐色	普通	ナデ	ナデ	
"	"	3	"	19.4		1~3mm大の小石が混る、 砂粒を含む、赤粒子が混る	淡黄赤茶褐色/淡褐色	やや不良	ヨコナデ、不明	ナデ	
"	"	4	"	21.6		1~5mm大の小石が混る、 砂粒を含む	淡黄褐色	やや不良	不明	不明	
"	"	5	"	20.2		1~5mm大の小石が混る、 砂粒を含む、赤粒子が混る	暗黄褐色	やや不良	不明	不明	黒班有り
"	"	6	"			1~6mm大の小石が混る、 砂粒を含む	黄灰赤褐色	やや不良	不明、ヨコナデ	ナデ	細片
"	"	7	"			1~4mm大の小石が混る、 砂粒を含む	黄灰褐色	不良	不明	不明	細片
"	"	8	"			1~4mm大の小石が混る、 砂粒を含む	黄褐色	普通	ハケ目、ヨコナ デ	ナデ	細片
"	"	9	"			1~5mm大の小石が混る、 砂粒を含む	灰黒褐色/明茶暗灰褐色	やや不良	不明	不明	細片
"	SK57	1	壺	18		1~5mm大の小石が混る、 砂粒を含む	暗黄茶褐色	やや不良	ハケ目、不明	不明	
"	"	2	甕			1~5mm大の小石が混る、 砂粒を含む	暗黄褐色	不良	不明	不明	沈線

表7 SK50・51・52・54・57出土土器観察表

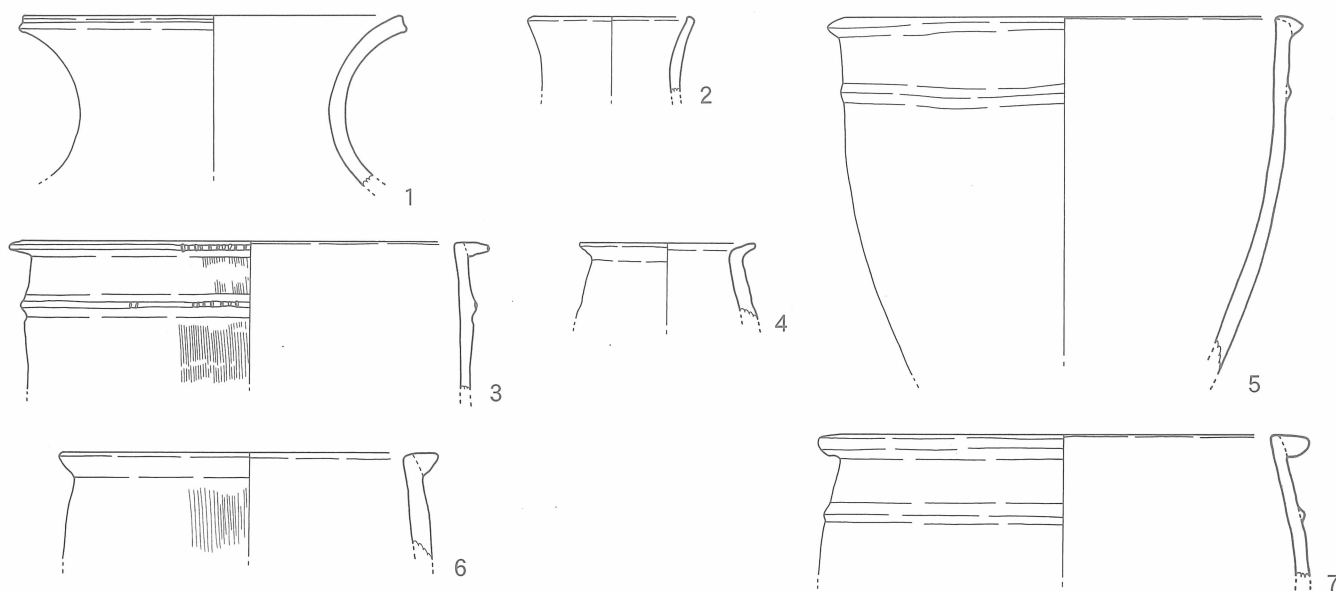
挿図 番号	出土 遺構	遺物 番号	器 類	口径 (cm)	器高 (cm)	胎 土	色 調	焼成	調 整		備 考
									外 面	内 面	
第23図	SK57	3	甕	25.6		1~5mm大の小石が混る、 砂粒を含む	淡黄灰褐色	不良	不明	不明	
"	"	4	"			1~5mm大の小石が混る、 砂粒を含む、赤粒子が混る	黄茶褐色/淡褐色	やや不良	不明	不明	
"	"	5	"			1~5mm大の小石が混る、 砂粒を含む	黄茶褐色	不良	不明	不明	黒班有り
"	SK58	1	"			1~3mm大の小石が混る、 砂粒を含む	明黄茶褐色/暗黄褐色	普通	ハケ目後ヘラ 調整	ナデ	

表 8 S K 57・58出土土器観察表

SX01



SX02



SX03

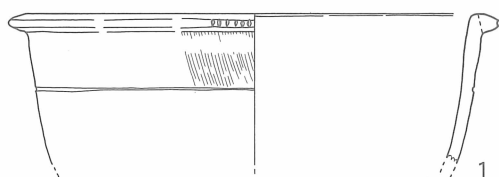
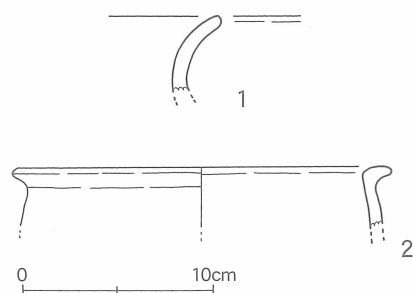


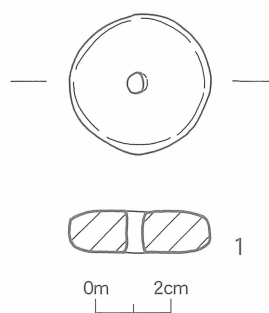
図 2 4 不明遺構 (S X 01~03) 出土土器実測図 [1/4]

挿図 番号	出土 遺構	遺物 番号	器 類	口径 (cm)	器高 (cm)	胎 土	色 調	焼成	調 整		備 考
									外 面	内 面	
第24図	SX01	1	甕	20		1~4mm大の小石が混る、 砂粒を含む	暗黄褐色	不良	不明	不明	
"	"	2	"	20		1~3mm大の小石が混る、 砂粒を含む、赤粒子が混る	淡黄褐色	やや不良	不明	不明	
"	"	3	"	32		1~3mm大の小石が混る、 砂粒を含む、赤粒子が混る	暗黄褐色	やや不良	不明	不明	
"	"	4	"	15.4		1~5mm大の小石が混る、 砂粒を含む	淡黄茶褐色	やや不良	不明、ヨコナデ ナデ	不明	
"	"	5	"	20		1~3mm大の小石が混る、 砂粒を含む	暗褐色	やや不良	ヨコナデ、ハケ 目	ヨコナデ、ナデ	
"	"	6	"	21.6		1~7mm大の小石が混る、 砂粒を含む	暗黄黒灰褐色	やや不良	不明、ナデ、 ヨコナデ	不明	
"	"	7	"			1~5mm大の小石が混る、 砂粒を含む	淡黄灰褐色	普通	ハケ目、ヨコナ デ、ナデ	ヘラ調整	黒班有り
"	"	8	"			1~8mm大の小石が混る、 砂粒を含む	淡黄茶褐色/灰黒褐色	やや不良	不明、ナデ	ナデ	
"	"	9	壺			1~7mm大の小石が混る、 砂粒を含む、赤粒子が混る	暗黄褐色	普通	ヘラ調整、ナデ	ナデ	黒班有り
"	SX02	1	"	20		1~5mm大の小石が混る、 砂粒を含む	淡黄灰褐色	やや不良	不明	不明	
"	"	2	"	8		1~3mm大の小石が混る、 砂粒を含む	淡褐色	やや不良	ナデ	ナデ	黒班有り
"	"	3	甕	21.6		1~5mm大の小石が混る、 砂粒を含む	暗褐色	やや不良	ヨコナデ、ハケ 目	ヨコナデ、ナデ	
"	"	4	"	9.2		1~3mm大の小石が混る、 砂粒を含む	暗黄褐色	やや不良	不明	不明	
"	"	5	"	22.2		1~6mm大の小石が混る、 砂粒を含む、赤粒子が混る	暗黄茶灰褐色	やや不良	不明、ヨコナデ ナデ	ヨコナデ、ナデ	
"	"	6	"	16.4		1~3mm大の小石が混る、 砂粒を含む	淡褐色	やや不良	ヨコナデ、ハケ 目	ヨコナデ、ハケ 目	
"	"	7	"	22		1~6mm大の小石が混る、 砂粒を含む、赤粒子が混る	淡黄褐色	やや不良	ヨコナデ、不明	ナデ	
"	SX03	1	"	24.2		1~4mm大の小石が混る、 砂粒を含む	暗褐色/暗黄褐色	やや不良	ヨコナデ、ハケ 目、不明	ナデ	沈線

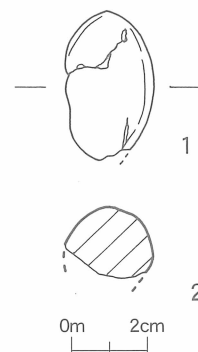
表9 SX01・02・03出土土器観察表



第25図 溝(SD01)出土
土器実測図 [1/4]



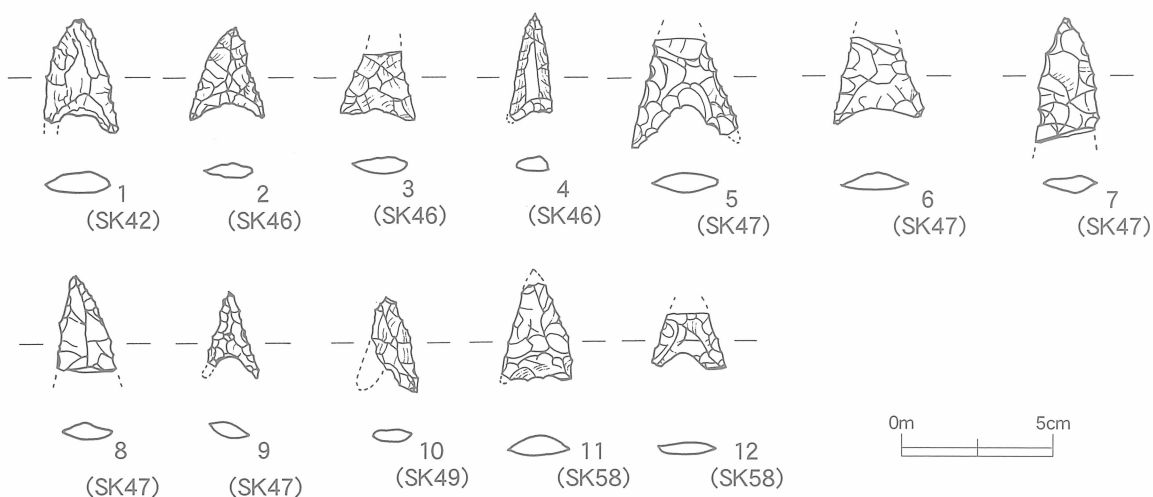
第26図 竪穴住居(SB70)出土
土製品実測図 [1/2]



第27図 土壌(SK33)出土
土製品実測図 [1/2]

挿図 番号	出土 遺構	遺物 番号	器 類	口径 (cm)	器高 (cm)	胎 土	色 調	焼成	調 整		備 考
									外 面	内 面	
第25図	SD01	1	壺			小石が混る、砂粒を含む	淡黄褐色	やや不良	ハケ目、摩耗	ヨコナデ後ヘ ラ調整	細片
"	"	2	甕	20		小石が混る、砂粒を含む	暗褐色/黒灰褐色	やや不良	ヨコナデ、ナデ	ヨコナデ、ナデ	
第26図	SB70	1	紡錘車	(最大径) 3.8	1.1						(孔径0.4mm)
第27図	SK33	1	投弾	(最大径) 2.4	不明	細砂土を含む	暗褐色	やや不良			1/2片

表10 SD01・SB70・SK33出土土器観察表



第 28 図 土壌（SK42・46・47・49・58）出土石器実測図 [1/2]

挿図 番号	出土 遺構	遺物 番号	器 類	長さ (cm)	厚さ (cm)	岩 質	色 調	備 考
第28図	SK42	1	石鏃	3.0	0.5	サヌカイト		下部一部欠損
"	SK46	2	"	2.5	0.4	"		
"	"	3	"	1.9	0.4	"		上部欠損
"	"	4	"	3.0	0.4	"		下部一部欠損
"	SK47	5	"	3.0	0.5	"		上部欠損
"	"	6	"	2.3	0.5	"		上部欠損
"	"	7	"	3.2	0.5	"		下部欠損
"	"	8	"	2.5	0.5	"		下部欠損
"	"	9	"	2.2	0.3	"		下部一部欠損
"	SK49	10	"	2.5	0.3	"		"
"	SK58	11	"	2.5	0.6	"		上部欠損
"	"	12	"	1.5	0.3	"		上部欠損

表 1 1 SK42・46・47・49・58出土石器観察表

S X 0 4（第 1 3 図、図版 1 0）

S X 0 3 の西側にあり、当遺跡に切られる。プランは不整形である。深さは 1 5 c m 前後である。遺物は出土していない。

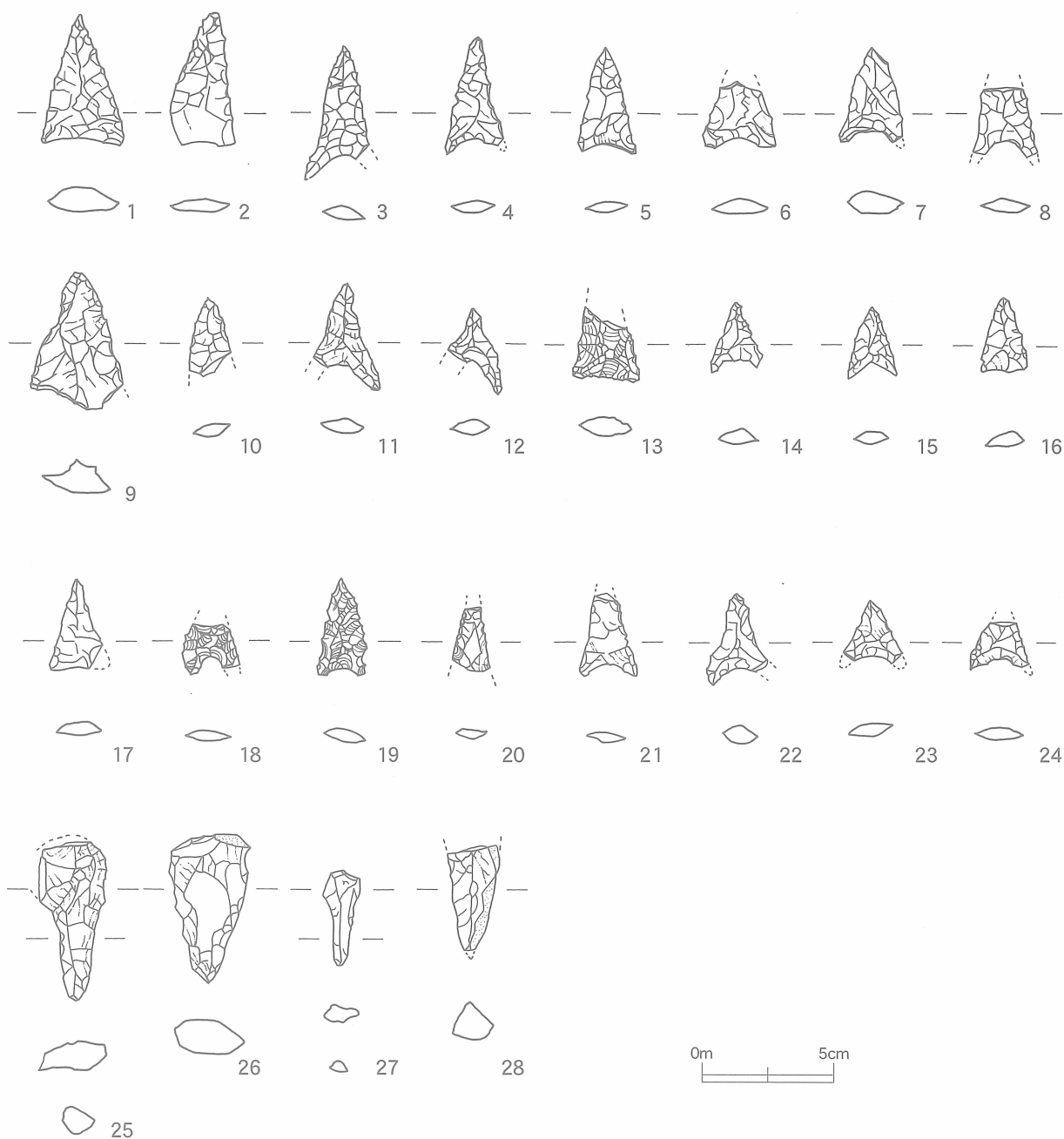
（3）古墳時代の遺構

遺構は、竪穴住居が 1 軒見つかった。カマドを付設しており、1 次調査においても同時代の竪穴住居が見つかったので集落の西側への広がりが確認された。

竪穴住居（S B）

S B 7 1（第 8 図）

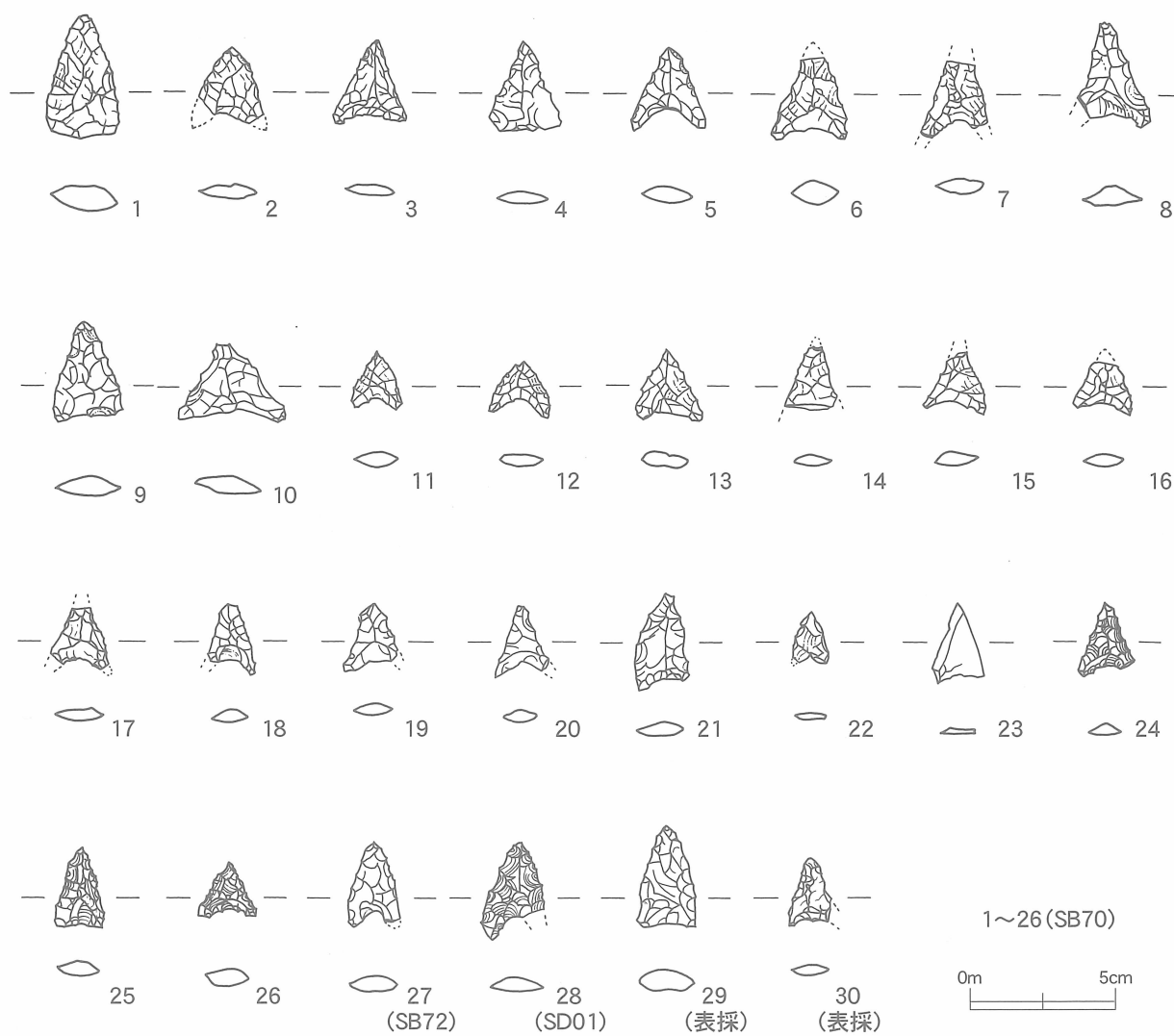
調査区の南東の隅で見つっており、南側と東側は調査区域外のため規模が不明である。深さ 3 c m 前後と非常に残りが悪かったが、西側にカマドの痕跡があり、住居の形状などから後期のものと考えられる。また、遺構の検出の際には、この上層の包含層から、須恵器の提瓶、土師器の坏や甕が出土しており、本遺構との関連性が考えられる。遺物は出土していない。



第 2 9 図 土墳 (SK50) 出土石器実測図 [1/2]

挿図 番号	出土 遺構	遺物 番号	器 類	長さ (cm)	厚さ (cm)	岩 質	色 調	備 考
第29図	SK50	1	石鏃	4	0.8	サヌカイト		
"	"	2	"	4	0.4	"		
"	"	3	"	4	0.5	"		下部一部欠損
"	"	4	"	3.5	0.4	"		
"	"	5	"	3.2	0.4	"		
"	"	6	"	2	0.5	"		上部欠損
"	"	7	"	2.8	0.7	"		下部一部欠損
"	"	8	"	2	0.4	"		上下欠損
"	"	9	"	4.1	1.1	"		下部欠損
"	"	10	"	2.4	0.4	"		下部欠損
"	"	11	"	3.4	0.4	"		下部一部欠損
"	"	12	"	2.6	0.5	"		"
"	"	13	"	2.2	0.6	黒曜石		上下欠損
"	"	14	"	2	0.5	サヌカイト		
"	"	15	"	2.1	0.4	"		
"	"	16	"	2.3	0.5	"		
"	"	17	"	2.8	0.5	"		下部一部欠損
"	"	18	"	1.6	0.3	黒曜石		上部欠損、下部一部欠損
"	"	19	"	2.9	0.4	"		
"	"	20	"	1.9	0.3	"		上下欠損
"	"	21	"	2.5	0.3	サヌカイト		上部欠損
"	"	22	"	2.8	0.5	"		下部一部欠損
"	"	23	"	2	0.4	"		下部欠損
"	"	24	"	1.5	0.3	"		上部欠損
"	"	25	石錐	4.8	0.9	"		上部欠損
"	"	26	"	4.5	1	"		一部自然面をのこす
"	"	27	"	2.9	0.5	"		
"	"	28	"	3.3	1.2	"		上下欠損、一部自然面をのこす

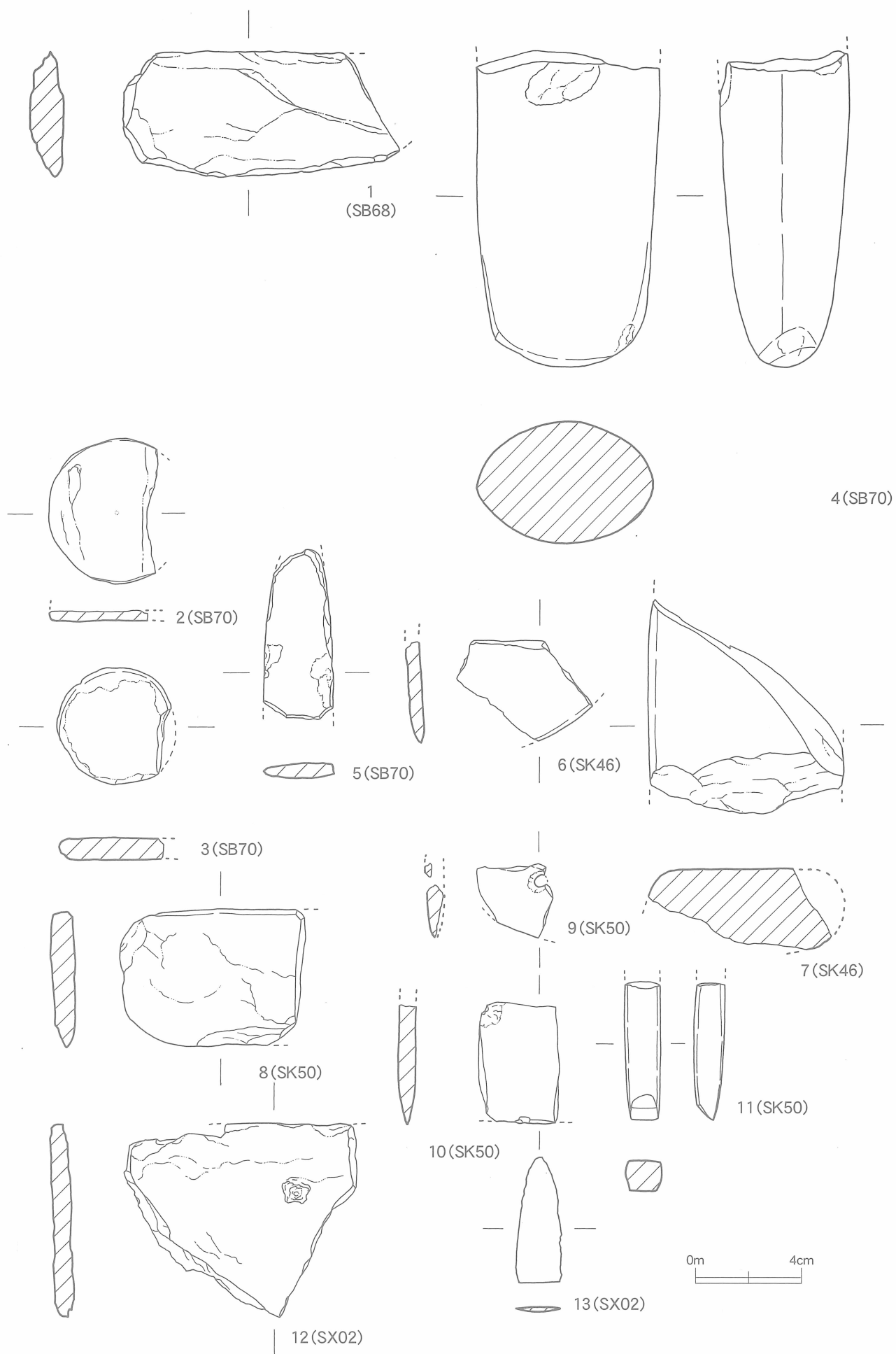
表 1 2 SK50出土石器観察表



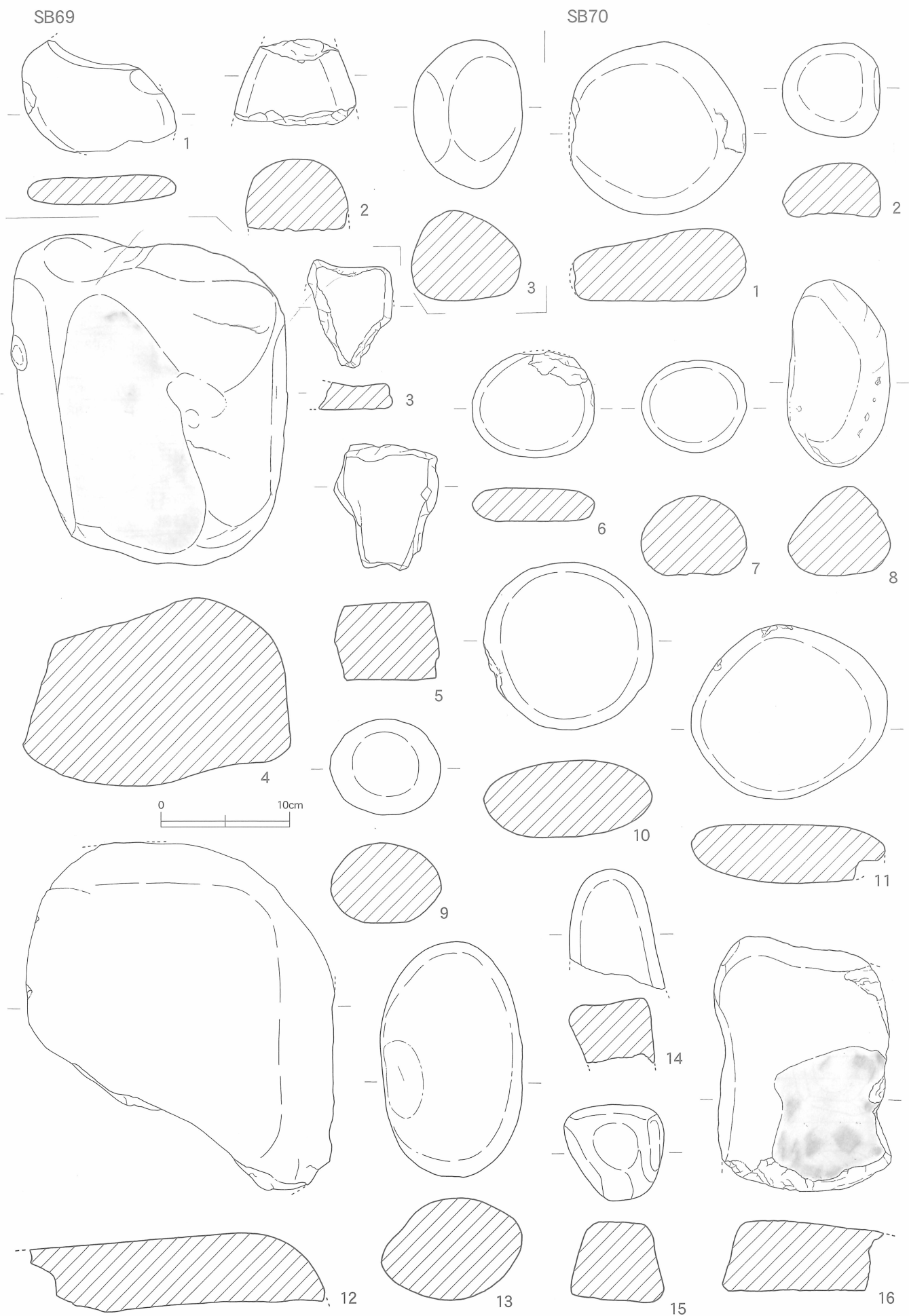
第30図 竪穴住居(SB70・72)、溝(SD01)、表採出土石器実測図 [1/2]

挿図 番号	出土 遺構	遺物 番号	器 類	長さ (cm)	厚さ (cm)	岩 質	色 調	備 考
第30図	SB70	1	石鏃	3.4	0.7	サヌカイト		
"	"	2	"	2	0.4	"		下部欠損
"	"	3	"	2.3	0.4	"		
"	"	4	"	2.4	0.3	"		
"	"	5	"	2.2	0.5	"		
"	"	6	"	2.3	0.7	"		上部欠損
"	"	7	"	2.2	0.5	"		上下欠損
"	"	8	"	2.9	0.6	"		下部一部欠損
"	"	9	"	2.8	0.6	"		
"	"	10	"	2.1	0.5	"		
"	"	11	"	1.5	0.5	"		
"	"	12	"	1.4	0.3	"		
"	"	13	"	2	0.5	"		
"	"	14	"	1.7	0.3	"		上下欠損
"	"	15	"	1.6	0.4	"		上部欠損
"	"	16	"	1.3	0.4	"		上部欠損
"	"	17	"	1.7	0.3	"		上下欠損
"	"	18	"	1.9	0.4	"		下部一部欠損
"	"	19	"	1.8	0.3	"		"
"	"	20	"	2	0.4	"		"
"	"	21	"	2.6	0.4	"		
"	"	22	"	1.4	0.2	"		下部一部欠損
"	"	23	"	2.1	0.1	"		
"	"	24	"	2	0.4	黒曜石		
"	"	25	"	2.2	0.4	"		
"	"	26	"	1.5	0.5	"		
"	SB72	27	"	2.3	0.4	サヌカイト		下部一部欠損
"	SD01	28	"	2.7	0.4	黒曜石		"
"	表採	29	"	2.7	0.6	サヌカイト		
"	表採	30	"	1.8	0.3	"		下部一部欠損

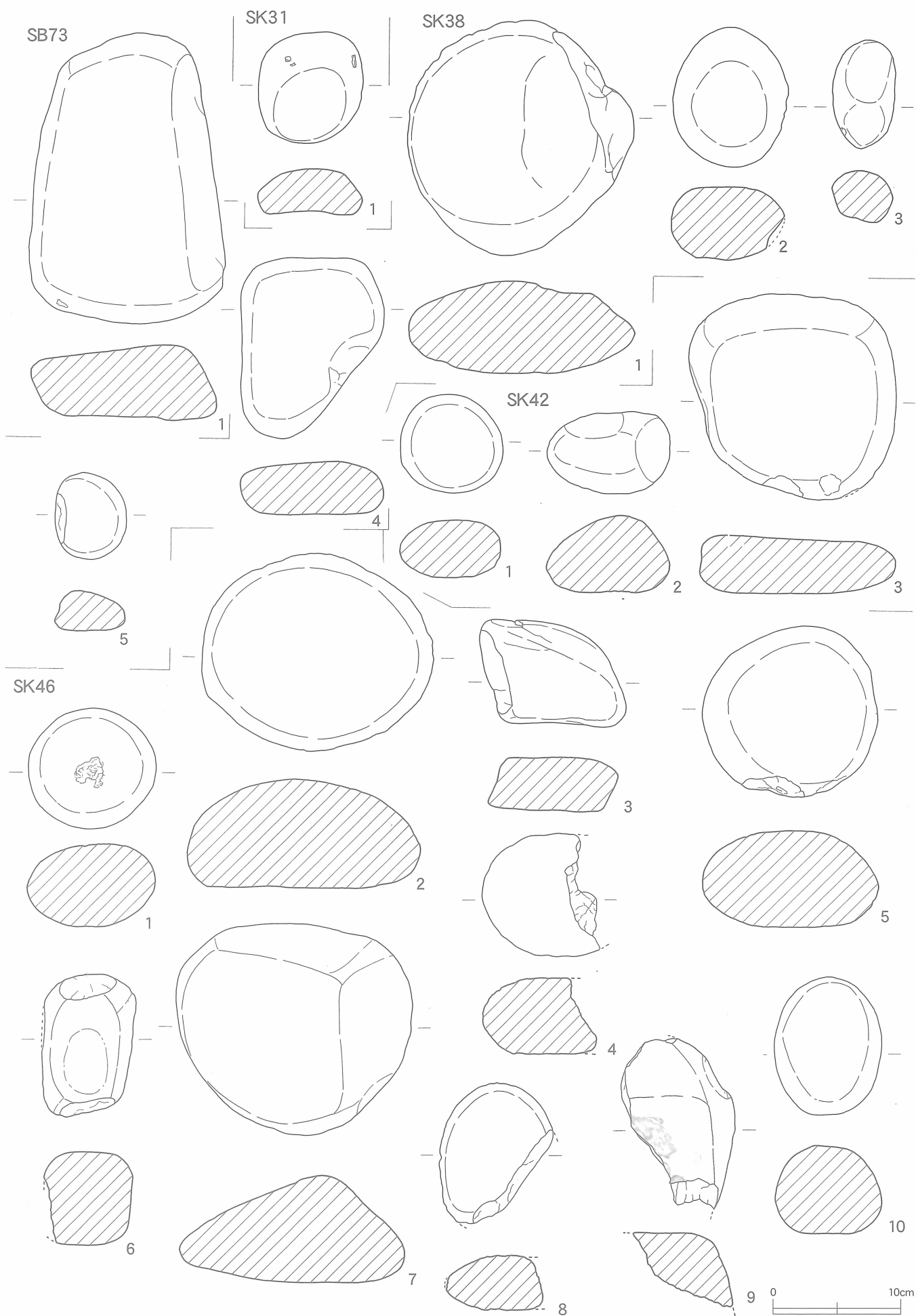
表 1 3 S B 70 ・ 72 ・ S D 01 ・ 表採出土石器観察表



第31図 竪穴住居 (S B 68・70)、土壇 (SK46・50)、不明遺構 (S X 02) 出土石器実測図 [1/2]



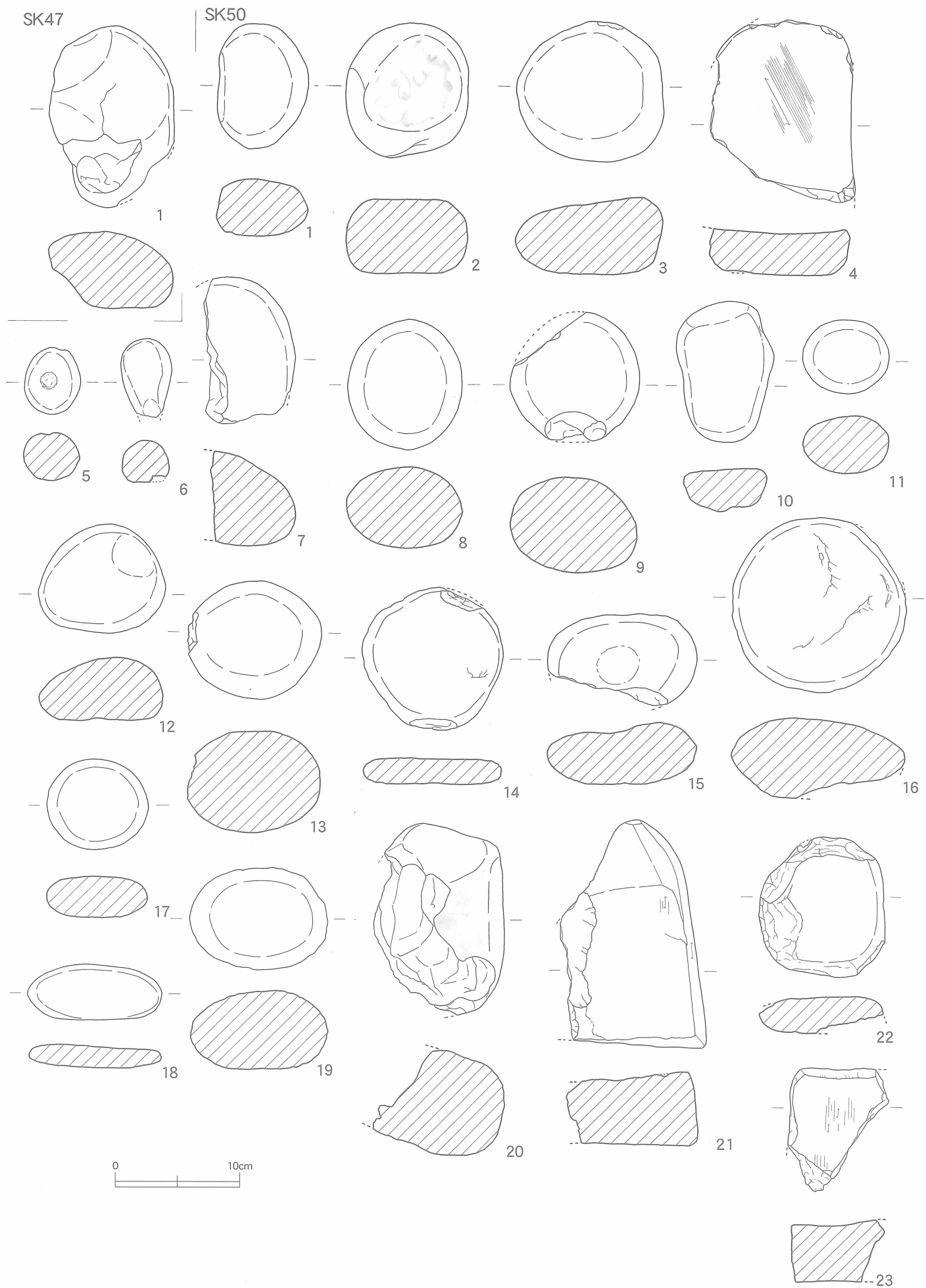
第32図 竪穴住居（SB69・70）出土石器実測図 [1/4]



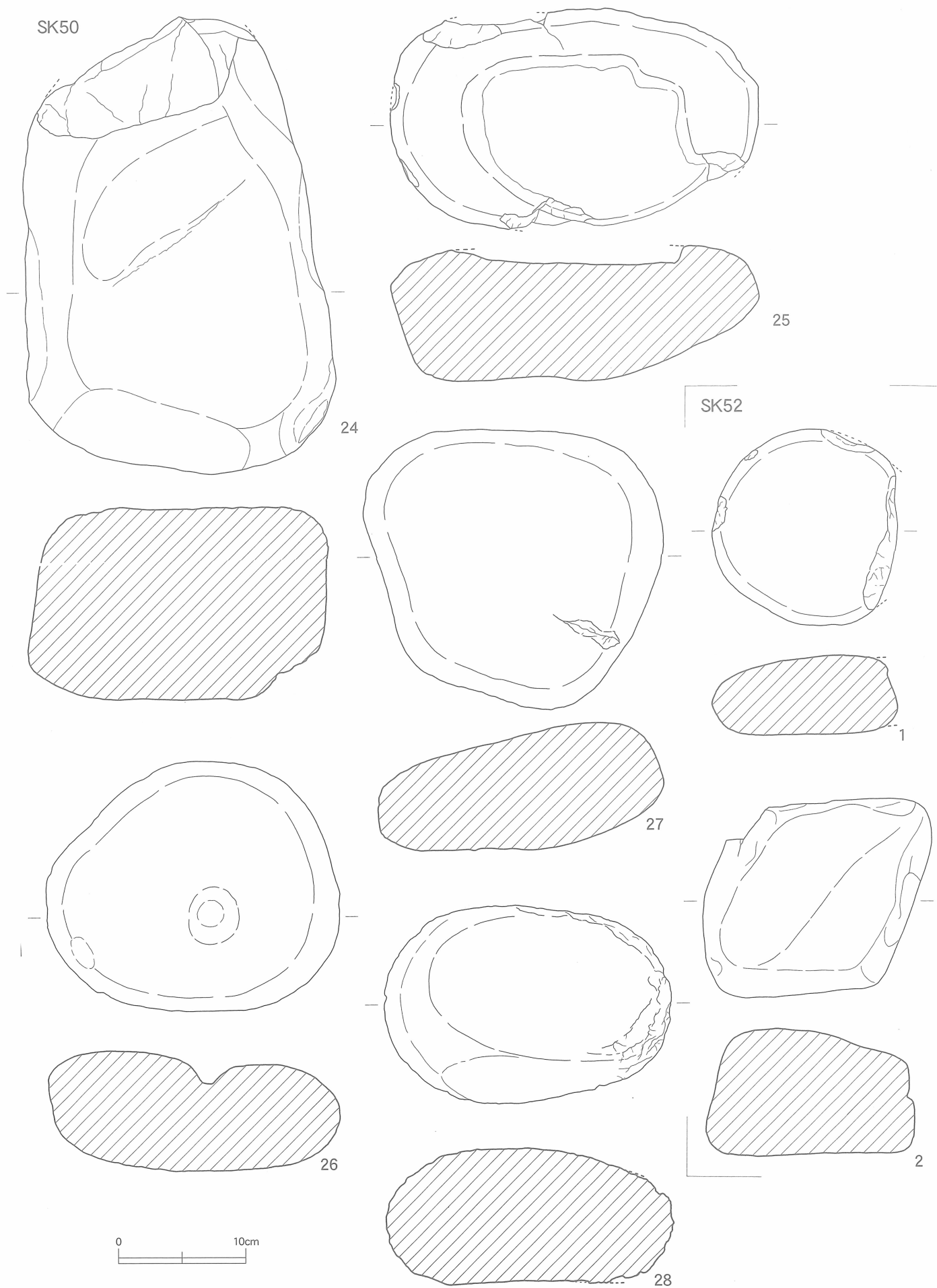
第33図 竪穴住居（SB73）、土坑（SK31・38・42・46）出土石器実測図 [1/4]

挿図 番号	出土 遺構	遺物 番号	器 類	長さ (cm)	厚さ (cm)	岩 質	色 調	備 考
第31図	SB68	1	石庖丁			片岩		未製品
"	SB70	2	紡錘車			"		"、一部欠損、穿孔痕
"	"	3	"			"		一部欠損
"	"	4	大型蛤刃石斧			安山岩		1/2欠損
"	"	5	石剣			砂岩		未製品
"	SK46	6	石庖丁			片岩		刃部のみ研磨
"	"	7	蛤刃石斧片			安山岩		
"	SK50	8	石庖丁			片岩		未製品
"	"	9	"			"		一部のみ
"	"	10	"			粘板岩		
"	"	11	扁平片刃石斧			"		上部欠損
"	SX02	12	大型石庖丁			片岩		未製品、穿孔痕
"	"	13	磨製石鏃			砂岩		
第32図	SB69	1	磨石	11.5	2.1	安山岩		
"	"	2	"	9.5	5.5	"		下部欠損
"	"	3	"	11.5	7	"		
"	SB70	1	"	13.5	5.7	"		
"	"	2	"	7.5	4.2	"		
"	"	3	石皿	8	2	"		
"	"	4	台石	26	11.5	"		赤色顔料付着
"	"	5	石皿	9.7	6	"		
"	"	6	磨石	8.3	2.5	"		
"	"	7	"	7.2	6.2	"		
"	"	8	"	14.5	7	"		
"	"	9	"	7.5	6.3	"		
"	"	10	"	13	6	"		
"	"	11	"	13.5	4.6	"		下部欠損
"	"	12	石皿	27	5.5	"		
"	"	13	磨石	15.3	8	"		
"	"	14	"	9.3	4.3	"		下部欠損
"	"	15	"	7.5	6.2	"		
"	"	16	台石	20	5.5	"		
第33図	SB73	1	台石	22.5	5.8	"		
"	SK31	1	磨石	8.6	3.3			
"	SK38	1	"	18	7			
"	"	2	"	11	5.5			
"	"	3	"	8.2	4			
"	"	4	"	14	4			
"	"	5	"	6.7	3.2			
"	SK42	1	"	7.7	4.5			
"	"	2	"	9.6	6			
"	"	3	石皿	16	4.5			
"	SK46	1	くぼみ石	9.5	6.5			
"	"	2	"	15.3	8.5			
"	"	3	"	11.5	4.2			
"	"	4	"	9.5	6			
"	"	5	"	13.3	7.5			
"	"	6	"	11.2	7.3			
"	"	7	"	16.5	8.3			
"	"	8	"	11	4.2			
"	"	9	石皿	13	5.7			赤色顔料付着、上下欠損
"	"	10	磨石	10.8	7			
第34図	SK47	1	"	14.5	6.1			
"	SK50	1	"	10	4.6			
"	"	2	"	10.5	6			赤色顔料付着
"	"	3	"	11.2	6			
"	"	4	砥石	14	3.3			上下欠損
"	"	5	くぼみ石	5.3	3.7			

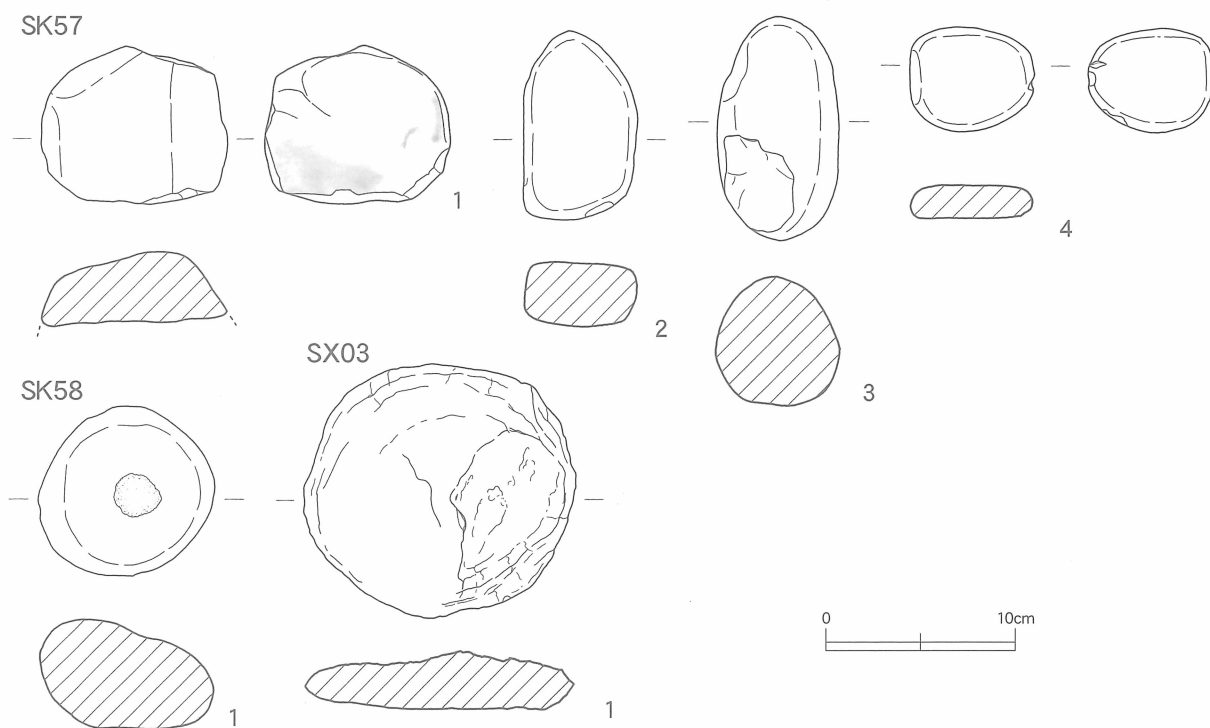
表 1 4 S B 68・69・70・73・S K 31・38・42・46・47・50・S X 0 2出土石器観察表



第34図 土墳（SK47・50）出土石器実測図 [1/4]



第35図 土墳（SK50・52）出土石器実測図 [1/4]



第36図 土壌（SK57・58）、不明遺構（SX03）出土石器実測図 [1/4]

挿図 番号	出土 遺構	遺物 番号	器 類	長さ (cm)	厚さ (cm)	岩 質	色 調	備 考
第34図	SK50	6	磨石	6.3	3.3			下部欠損
"	"	7	"	11.8	7.5			"
"	"	8	"	10.5	6.5			
"	"	9	"	10.5	7.5			
"	"	10	"	11.2	3.3			
"	"	11	"	6	4.5			
"	"	12	"	8.8	5			
"	"	13	"	9.5	8			
"	"	14	"	11.4	2			
"	"	15	くぼみ石	12	4.8			
"	"	16	磨石	14	6.5			
"	"	17	"	7.2	3.2			
"	"	18	"	10.8	1.7			
"	"	19	"	11	6.2			
"	"	20	台石	15.3	8.5			赤色顔料付着
"	"	21	砥石	18	6	砂岩		
"	"	22	台石	11.3	3			
"	"	23	砥石	10	5	長石班岩		下部欠損
第35図	"	24	台石	36	15			上部欠損
"	"	25	石皿	29	12			
"	"	26	くぼみ石	23	9.5			
"	"	27	石皿	22	10			
"	"	28	台石	15.5	10.5			
"	SK52	1	"	15.5	6			
"	"	2	"	15	10			
第36図	SK57	1	磨石	8.3	3.7			下部欠損、赤色顔料付着
"	"	2	"	10	3.5			
"	"	3	"	11.8	6.8			
"	"	4	"	5.5	1.7			
"	SK58	1	くぼみ石	9	5.7			
"	SX03	1	台石	13.5	3.1			

表 15 SK50・52・57・58・SX03出土石器観察表

5. まとめ

今回の調査では、1次調査ですでに確認されている弥生時代中期前半の集落と古墳時代後期の集落の西側への広がりが予想された。

まず、弥生時代中期前半の住居については、本遺跡の西側まで確実に広がっていたことが確認された。また、今回の調査で28基の土壇が見つかったが、その中には、サヌカイトの剥片等が多量に出土したものがあつた。1次調査でも、サヌカイトの石核と剥片が多量に出土した竪穴住居が見つかった。その他石庖丁も作られていたらしく、製作途中のものが見つかった。石材はこの周辺で産する片岩で、数点出土している。おそらく、集落のなかで石器作りが行われていたのではないだろうか。

さらに注目する点は、竪穴住居や土壇の中に流れ込んだ多量の河原石である。調査区の南側には星野川があるため、弥生時代のある時期河川が氾濫し集落を襲った可能性も考えられる。

次に古墳時代後期の竪穴住居であるが、調査区の南東の隅に1軒だけ見つかり、それより西側に広がっていないことがわかった。また、住居の上層の包含層から須恵器の提瓶や、土師器の坏が出土しており、1次調査の住居の時期と一致する。ただ、カマドの位置についてであるが、西側に付設されたものは1次調査では見られなかった。

今回の調査を始めるにあたり、調査区南側の“塚”と呼ばれていた箇所についても発掘の依頼があり、その周辺の掘り下げを行ったが周溝は見つからなかった。1次調査では、この区域は畑でありその時点では“塚”にもなにか目印があつたかもしれない。しかし、1次調査が終了した後駐車場として利用されており“塚”の上には花壇が作られていた。

今回の調査では、“塚”のすぐ北側に本遺跡最大の土壇であるSK50が見つかり、上層部に石が露出していた。この遺構が“塚”と何か関連があつたかもしれない。

図版 (P L A T E S)



(1) 高野町遺跡 1次調査 (上空西より)



(2) 高野町遺跡2次調査発掘前全景

図版 2



(1) 高野町遺跡2次調査発掘調査後全景（北から）



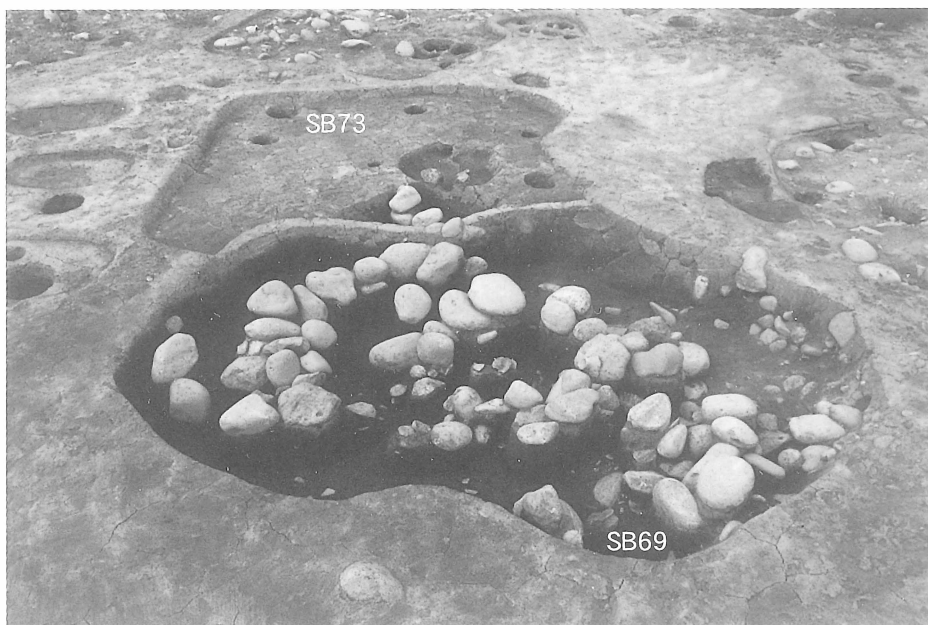
(2) 高野町遺跡2次調査発掘調査後全景（南西から）



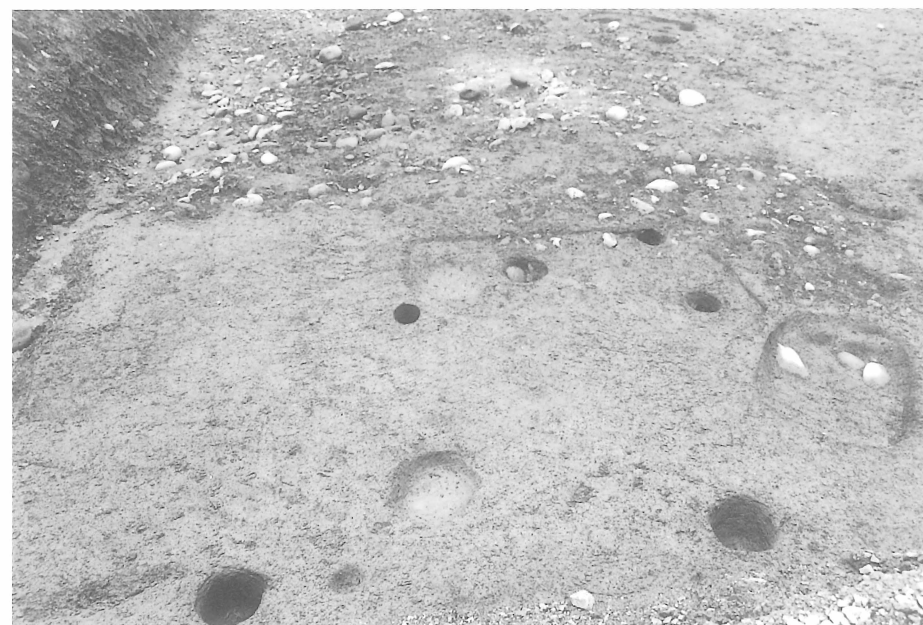
(1) SB 68



(3) SB 70 石斧出土状况



(2) SB 69 · SB 73



(4) SB 71

図版 4



(1) SB70



(2) SB70 (完掘)



(1) SK 3 3



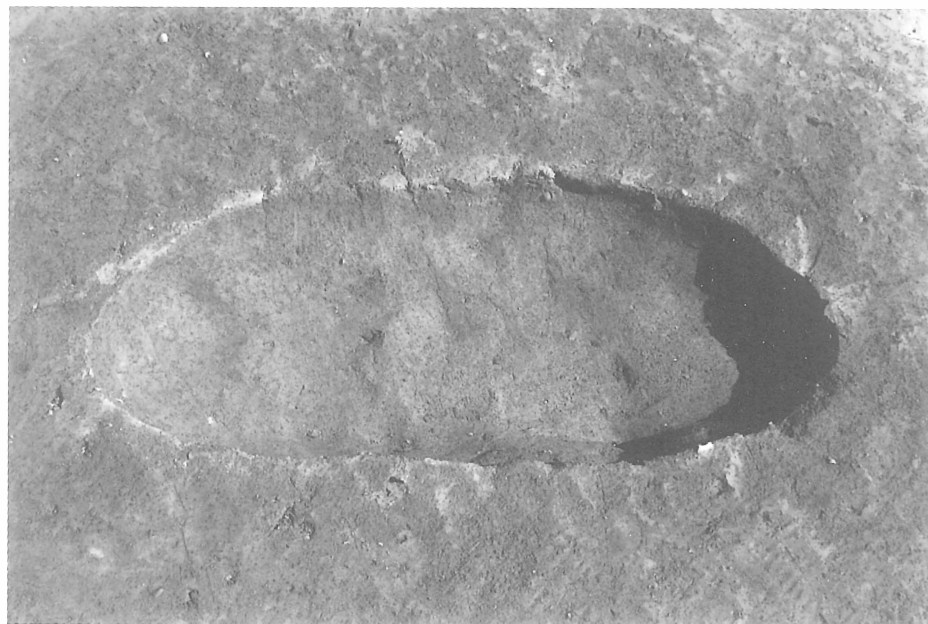
(3) SK 3 5



(2) SK 3 4



(4) SK 3 6



(1) SK 37



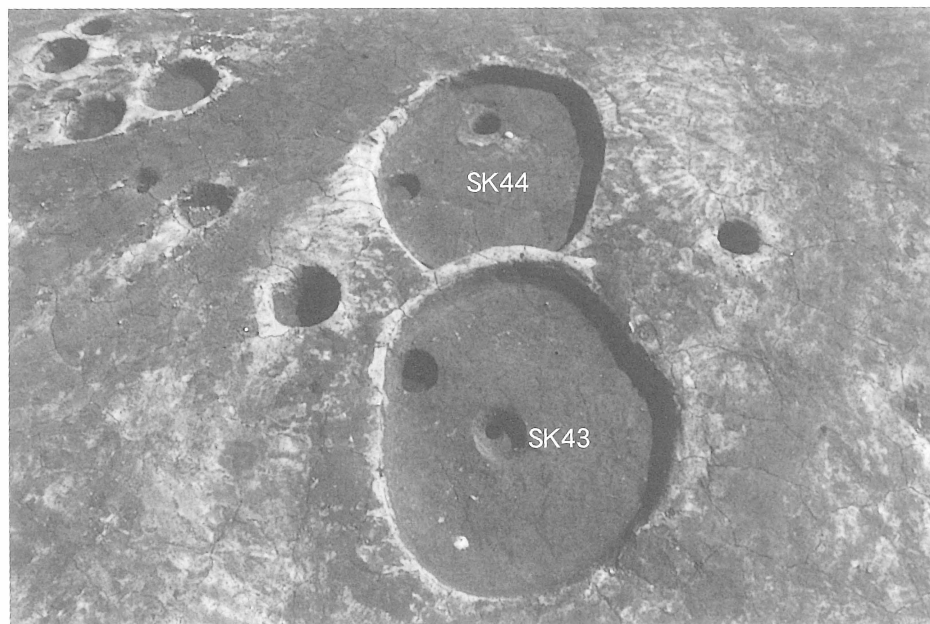
(3) SK 39 · 40 · 41



(2) SK 38



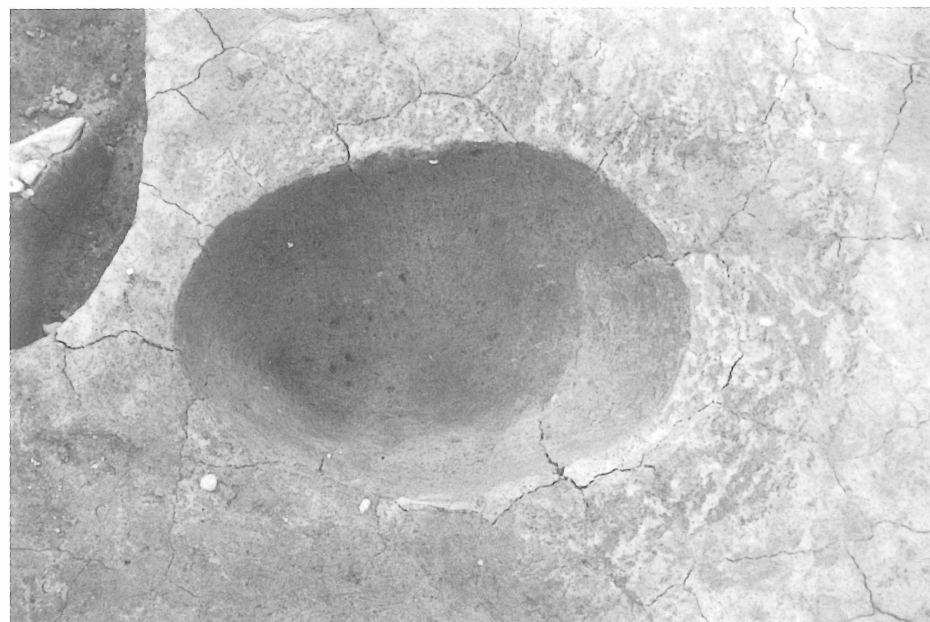
(4) SK 42



(1) SK 43 · 44



(3) SK 46



(2) SK 45



(4) SK 47



(1) SK49・50・57



(3) SK50土器出土状況



(2) SK50



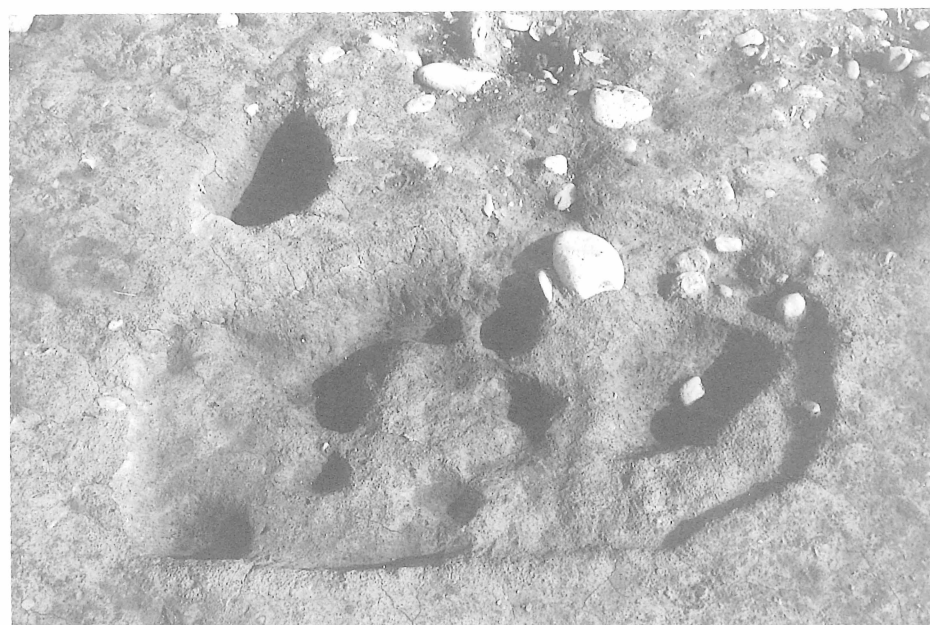
(4) SK51



(1) SK 52



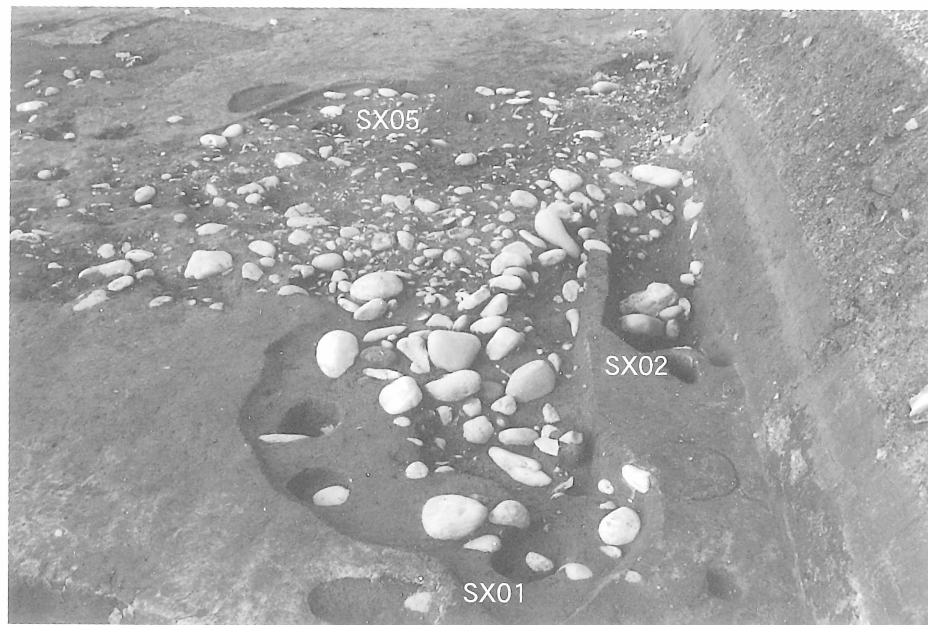
(3) SK 54



(2) SK 53



(4) SK 55



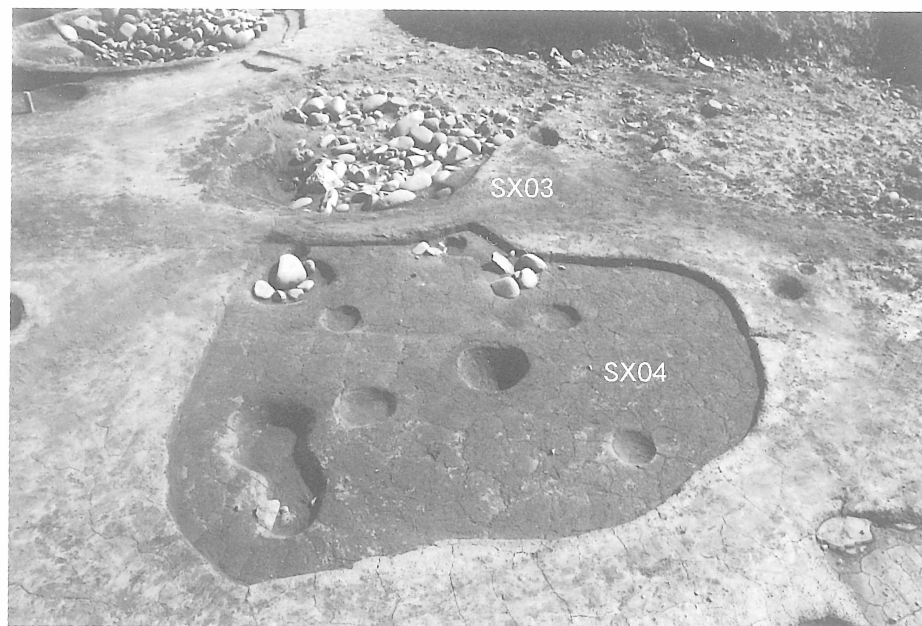
(1) SX01・02・05 (南から)



(3) SX03



(2) SX01・02・05 (西から)



(4) SX03・04

報 告 書 抄 録

ふりがな		たかのまちいせき						
書名		高野町遺跡（2次調査）						
福書名		福岡県八女市大字祈祷院所在遺跡の調査報告書						
巻次								
シリーズ名		八女市文化財調査報告書						
シリーズ番号		第 75 集						
編著者名		中川寿賀子						
編集機関		八女市教育委員会						
所在地		834-8585 福岡県八女市大字本町647 TEL 0943－23－1982						
発行年月日		西暦 2006年 3 月31日						
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 ° ' "	東経 ° ' "	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号					
たかのまち 高野町遺跡 （2次調査）	ふくおかけん 福岡県 やめし きとういん 八女市大字祈祷院	402109		33°12'40"	130°35'30"	2004 01 04 ～2004 03 29	800㎡	事務所 建設
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
高野町遺跡 （2次調査）	集落跡	縄文時代 ＼ 弥生時代 ＼ 古墳時代	竪穴住居 6軒 土壇 28基 溝 1条		縄文式土器 弥生式土器 須恵器 土師器 投弾 紡錘車 石鏃 石庖丁 太型蛤刃石斧 扁平片刃石斧 石剣			



高野町遺跡(2次調査)
八女市文化財調査報告書
第75集

平成18年3月31日

発行 八女市教育委員会
八女市大字本町647
印刷 (資) 東兄弟印刷所
八女市祈祷院563